京城日報

七日夕刊

定價　本紙一部金二錢五厘一ヶ月金六拾錢　廣告料……
京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

黎總統及南方の意思

某所著電に曰く黎總統は努めて南方の意思を尊重するの傾向あるも段内閣及び北方官僚派の勢力の爲め其の意思を自由に發表する事能はず南方派は護國軍を北京に入れ黎總統の親兵たらしむべしとの要求を爲したるも段内閣は此の要求を聽かざるべし（北京特電）

唐紹儀再び辭す

唐紹儀より電報にて再度外交總長拒絶を申し來れり（北京特電）

露軍重要鐵道線を切斷す

露軍はレンベルグに至る重要通路なるデラチンコロスメゾ間の鐵道線路を切斷し敵をドニエステール河右岸に潰走せしめたり（露都電報）

英軍若干進出す

ヘイグ將軍五日發表の公報に曰くアングルソン附近に於ける激戰は夜間逐漸緩し英軍は若干の重要地點に於て更に進出せり獨軍の砲撃は或る部分に對して猛烈を極めチエップバルの敵第新砲兵に對する敵の決死的攻撃二回は撃破せられたり（倫敦電報）

西部戰場大野戰か

英佛軍は最も健實なる領戰の下に著々進撃を實行し敵軍は後方連絡點に退却すべく茲に兩軍の大野戰開かる可し（東京電報）

總督參內
退出後首相訪問

元帥寺内總督は六日午前參內御所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ元帥賜號の御禮を奏上し且朝鮮統治の狀況を伏奏し終つて皇后陛下の御機嫌を奉伺し尚ほ臘司侍從長大森皇后宮大夫に面會して退下更に波多野宮相を訪問し種々要談して退出其れより永田町首相官邸に大隈首相を訪問し折柄在邸中の石井外相も加はり長時間會談したり（東京特電）

首相辭任進捗か

大隈首相は去る三日宮中に參內拜謁仰せ付けられし際病軀任に堪へざるのみならず日露交渉一段落を告げたるを機會に此際骸骨を乞ひ度旨闕下に……あり翌四日參內せ……方侯及び相ひて參內せる山縣公にも提き邊りより右に關する御下問在らせられし等大隈首相辭任問題は意外に進捗したりと信ずべき理由あり其辭表捧呈を見るも近にあるべしと觀測さる（東京電報）

林男赴任延期

本月中旬出發の豫定なりし林駐支公使の北京行は政變の關係上赴任を延期する事となれり（東京電報）

戴天仇來る

孫逸仙の秘書戴天仇は孫の命を受け局面一變せる今日他國に亡命潜伏の要なければ東京其の他我國に亡命せる同士に近く行李を整へて本國へ歸國するに付き其の跡片付けの爲め七日朝長崎より關門通過東上せり（門司特電）

期米暴騰

數日來上向の氣配なりし期米暴騰せり（東京電報）

辭令

七日左の如く辭令あ……

正二位勳一等侯爵　蜂須賀茂韶
●教育調查會總裁被仰付

眞野文二　荒木寅三郎　北條時敬　天野爲之　手島精一　加納治五郎
●教育調查會々員被仰付
●叙高等官一等

選擧法改正調查會

其筋に於て組織進行中なりし選擧法改正調查會は來る十日發表に決せり多分同時に委員の任命依囑を見るべし（東京電報）

遞信電力課長會議

遞信省にては七日より約一週間の豫定を以て地方遞信局工務部電力課長會議を開催し所管事務に關し審議す（東京電報）

寺内總督參內

寺内總督は六日午前十一時參內、高橋南武官、池邊秘書官を隨へ宮中に參內拜謁仰付けられ、元帥府に列し元帥の稱號を賜はりたる御禮を言上せる後、其に朝鮮施政の狀況を伏奏退出したる旨其の筋に電報ありたり

政務總監招待

山縣政務總監は七日午後四時半より京城ホテルに於て目下會議の爲め入京中なる各水道係主任及び本府の水道關係者等十數名を招待し茶話會を催したり

古海總長視察

古海警務總長は六日朝仁川出帆、黃海道龍塘浦に向ひしが同夜著の筈なりしも近年稀なる濃霧ありたる爲め非常に延著し七日午前九時漸く無事著浦したりと

上水會議終了

總督府にては京城、仁川、平壤、鎭南浦、大邱、釜山、群山、木浦、元山各地の水道主任を召集し五日より第二會議室に於て持地局長統裁の下に上水主任會議を開催中なりしが同會は三日の日程を終了し七日午後田中丸囑託の講話ありて閉會、明日は京城水道水源地其の他の實地見學を爲す筈なり

定例長官會議

七日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長等は午前十時より總督府第一會議室に參集重要政務に就き……

仁川最近漁況

六月中仁川近海を中心として漁業に從事せる漁船數は約二百七八十隻にして忠淸南道全羅北道黃海道及び仁川近海を漁場とし一本釣延繩敷網鰆流網掛網等に依りて漁獲に從事し居れり而して例年に比し本年は非常に不漁なるに拘らず加へて内地漁業家が運送付の汽船及び仲買船し用の發動機船を朝鮮海漁場に派遣し現場に於て漁船より直接漁獲物を高價に買取りたるを以て仁川港に水揚したる數量に於て減少し昨年同月に比し一千餘圓減額したるも鯛鰆漁に從事せし漁船は昨年より好成績を擧げつゝあり本月中の漁船同航度數及び水揚高は同船一千三百二十隻水揚高一萬八千五百六十圓鮮船二百五十隻二千五百若九圓釜山其他委托品四百十圓計二萬一千四百七十八圓なり而して之れが消費先率は仁川市内二割京城龍山四割其他の各地方四割也

順化院視察

隈部警務部長は金谷府尹、石原事務官と共に七日午前九時より順化院に至り夏季に於ける傳染病取締に關する打合を爲す所ありたり

鹽魚倉庫建設

仁川、元山の二箇所に設備の事となれる鹽魚貯藏倉庫の中、仁川は蕃水產技師出張調查の結果、猫島鼻なる往時の臺場跡と決定、請負人との契約成り既に工事に著手したれば七月中旬までには竣成す可く、同倉庫は間口三間奥行四間、高さ一丈の穴庫にて竣成次第直ちに貯藏を開始す可し、又元山は蕃浦技師八日出張調查の上直に起工の豫定なれば之れ亦七月中には竣成貯藏の運びを見る可し

北鮮の鯖漁業

本年咸北道北部沿海の鯖漁業は未曾有の殷盛を呈しつゝあるが今清津以北の同漁業に就て聞くに連川、沙津、梨津、楡津、大草島、雄基、西水羅等各根據地近海の漁網は角網廿八統、巾著網三統、鰊網八統、地曳網九統、卷網十七統、鯖流二統等にして殆んど漁網を以て沿岸を蔽被するの有樣にて六月末迄の漁獲高にして既に三百萬に達せり就中最も殷盛を極めつゝあるは雄基近海造山灣にして漁業者の雄基に集中し之……山梅組の發動汽船四隻母船汽船二隻とは絶へず附近の漁撈場を廻りて漁獲物の運搬に努めつゝあり客月十九日より二十五日迄一週間に二百萬尾の鯖は雄基に揚陸せられたり而して之が開腹鹽藏等の處理人足七八百名が山積せる鯖に蝟集せる有樣は實に偉觀を呈し居れり尚ほ鯖漁の爲め目下雄基に集中し居れる漁撈者運搬從業者、處理人足、仲買人等は其數千七八百名に達し又之を當込みての諸雜貨飲食店等營業者等の入込める者も少なからず市況甚だ活氣を呈し居れり因に相場は六月二十五日頃一駄三十五圓内外なりしが漸次運賃の模樣なりと

咸南獻金高

明治神宮奉獻會に對する咸鏡南道獻金高は北靑郡の一千三圓元山府の九百七十三圓を始め咸興郡七百五十三圓永興郡五百四十四圓洪原郡四百四十圓定平郡四百三十圓其他合計金五千八百三十七圓二十五錢に上り最初割當額の四千二百五十圓に比し既に一千五百八十七圓二十五錢の超過を見るの盛況なるが更に各官衙及び各地愛國婦人會等の獻金額を加算せば約七千圓に達する見込あるは實に意外の好成績といふべし

朝鮮輕鐵工事

朝鮮輕便鐵道會社にては牟田口社長以下幹部一同既に到著せしを以て事務所を釜山停車場前に設置し近日中に線路の測量に著手の筈なるが同測量は遲くも本年十二月中には全部終了の豫定なれば工事著手は多分明年一月頃なるべく而して是が完成迄には少なくも三年以上を要すべく全線の總哩數は百二十哩にして一哩の工事費は平均二萬八千圓の豫算なるが全線中に鐵橋は一個所もなく全部木橋にして貨物の重なる者は海產物なりと

農銀配當決定

朝鮮各農工銀行は何れも來る十六日より二十三四日頃迄に全部定期株主總會を開會する事となり本年度上半期決算を附議する事となりしが其の配當は全州、成鏡、慶尙、光州四農銀は年八分の割にして整理中にある平安農銀は五分漢湖農銀は三分に確定したりと

圓覺寺晉山式

一書謹呈臨濟宗大本山相州鎌倉の瑞鹿山圓覺興聖禪寺にては本二日を以て前住釋宗演禪師を迎へ管長就任式を擧行せり連日の梅雨霽れて一點動かず蒲山の紫翠拭ふが如し定刻に至りて末派の寺院京濱の檀信無慮一千餘員大光明寶殿に著床するや法鼓〻々……く四表に光被して寶祚彌よ昌に彌よ明に九天に統御して皇圖轉た遠く轉た大ならむことを今上陛下の聖壽を祝し奉りたるが此れぞ禪宗の大宗旨にて滿堂起立敬禮せり釣語に應じ垂語提頭相出で一場の法戰は開かれ、行到水窮處、坐看雲起時とか或は不依橋子路、爭到葛洪家などの句を高吟しつゝ出る所羅一味の妙諦を見るこれより總謝、提綱の語などあて散場し大方丈にて小齋の式あり午後二時を以て全く式を終へたるが前年の時宗公祭以來の盛事なりき參列者中には二條公夫人、目厚藤、海江田子、井上督次郎、土肥慶藏、早川千吉郎、同夫人、池田龜三、同夫人、德富猪一郎、村上專精、秋山雅之助氏北條、鳥尾子爵夫人、柳橋梅子、佐々木信綱、國府種徳、大村彦太郎、鈴木大拙、中島久萬吉男、原富太郎、木村利右衛門、野村洋三、中山陸軍中將、陸奥廣吉伯、堀越之助男、土岐僙、井上友一、同一跡守田治兵衛等の諸氏を見受けね（瑞峰生）

天寶山鑛山

蒲京大興合社の手にて經營中なる間島天寶山鑛山は解氷以來著々として設備を進め此程漸く二十五馬力立の鑿岩機一臺を据付けたるが尚ほ近く同馬力の兩機を据付け兩機を以て鑿進せしめ來る十月頃迄には鑛層に逢着し得る豫定なりと（間島）

仁川

▲漁料會社發企人會　仁川魚料株式會社の創立發起人會を來る七日午後一時より仁川商業會議所樓上に於て開會し事業目論見書及び定款を作成し尚追加發企人を承認し許可申請書を其筋に提出する運びに至るべく現在發企人の顏振れは奧田、河野、美濃谷、吉金、辻川、森谷、大石の諸氏及び京城の岩谷氏なり ▲商專校水泳開始　仁川商業専修學校にては來る二十一日より夏期休暇に付同期間を利用し水泳部を開始し全生徒に對し水泳を教授する筈にて熊谷校長神長教頭其他運動部擔任職員及び押方明氏等目下場所の選定中なるが海流及び水深等の關係もある事なれば結局月尾島附近にて行はる事となるべし因に水泳教師は前記の押方氏任命さるべく同氏は小堀流の達人なり ▲明治神宮獻金者　仁川に於ける明治神宮其後の獻金者五圓以上の分は白神、力武（二十圓）辻川、加來、小谷、土井（十圓）山下（吉）（八圓）藤木、村谷（七圓）原田、上原、八浪、糸岐、園田、宮本、藤木、久布白、大久保、林田、上野、田中、木村、深見、諏訪、中川（五圓）の諸氏なり

群山

▲商議會議　去る一日商議……を行ひたる群山商……議數刻遂に滿場一致を以て會頭に十八銀行支店長北川元助氏を擧げ副會頭に北川組主北川醇氏を選び常務委員として大岡純太郎杉孝之助松本市五郎三氏を擧げ閉會したるは午後七時なりし

□群山より　五日早朝　西瀬生

▲昨夜十一時著群谷口旅館に投じ候、五日曉起二三の知己の渡込みを襲ひ、群山發一番列車にて北行の途に就かんと致し候 ▲東京大角力は六日七日の兩日、當地にて興行する由、此方面の人氣は著しく昂り居れるも、其の反對に市況の沈靜は市中目貫きの場所を一巡せるのみにて明らかに目に映じ候 ▲これ必らずしも夏枯の爲めのみならず、這回平野の浸水により全北平野の受けたる損害が本年群山米の移出能力を悲觀せしめ更に奥地に於ける鮮人の購買力を少なからず減殺するやう推測せる結果の如くに候 ▲市場の景況は直ちに人氣に左右せらる、併水害田復舊策の施設並に浸水田の盛返しも絶對的に悲觀するは早計と云ふにはあらず、群山市民も今日に於て、手も足も出ぬやう悲觀するは策の得たるものにあらず今後の變化により適應の手段を執られん事を茲に希望致し候

木浦

▲商議解散式　木浦商業會議所にては五日午後五時より公會堂に於て會議員一同集會解散式を擧行し終て記念撮影を爲し午後七時半より東雲樓に宴會開催 ▲木浦府債償還　水道債は總督府より八萬五千五百圓の補助を得たるため漢湖農工より三萬四千圓の新起債と共に今回府債九萬七千餘圓の繰上げ償還を爲したるが之れにて舊水道債は全部一掃されたる譯にて現在府債は十二萬五千圓を殘すのみなり ▲六月海藻移出　六月中當港の海藻類の移出高を聞くに天草一萬七千百九十斤海蘿十一萬一千二百九十斤櫻草九百七十斤イギリス二千五百五十斤にして銀杏草は絶無なりと然して一般に例年に比し稍減少なり特に六月下旬採取期遲延の傾きあり及び之に涉れる降雨の爲め著しく減じ從つて其移出高も減少せり △六月水揚高　當地水產會社六月中の水揚高は合計五千四百七十八圓入船數六百八十隻にして前月に比し水揚高に於て凡そ八百圓を減せるが原因は天候不良の爲め漁獲物の減少に因れるものゝ如く……

……外二名と協約し船津港に綿棉工場の新設を出願せり許可と共に數年後の出棉に應ずる大規模の工場を設置する豫定なりと ▲佐々木一部長歸任　水害地視察の爲め金泉方面に出張中なりし佐々木一部長は本日歸署せり ▲板橋聯隊長來著　板橋八十聯隊長は當地守備隊を巡視の爲め來著せり

釜山

▲傳染病院豫算　釜山傳染病院は愈々同地大新里に移轉することゝ決定せしが本年度豫算は既定の病舍增築費五千九百餘圓と現傳染病舍敷地賣却代九千九百六十圓合計一萬五千九百餘圓なり ▲市川少將通過　海軍機關少將市川淸次郞氏は吉岡中佐と共に去る六日朝上陸午前十時三十分發列車にて鎭海に赴きしが八日頃歸東の途に就くべしと ▲客月水產成績　釜山水產株式會社に於ける客月中の水揚數量は合計六萬九千五百七貫にして此の價格二萬七千三百六十八圓七十九錢にして是を昨年の同月に比すれば數量に於て五割強を增加せしが斯は鯖目等の多かりし爲めなりと

大邱

▲滯納處分督促　大邱府にては從來公課滯納者に對し稍寛大の處置を執りつゝありしが今期より愈々滯納者に對し猶豫なく滯納處分する方針にて十二日より差押物品を收用しつゝあり ▲大邱商議所豫算　大邱商業會議所大正四年度歲入出は二千五百八十八圓なりしが大正五年度は四千四百六十圓を計上し是を昨年に比し一千八百七十二圓の增額なりと ▲鎌田裁判所書記轉任　鎌田大邱地方法院淸道出張所主任は今回平壤地方法院へ轉任し六日任地へ出發 ▲明治神宮獻金既納者　六日までに大邱有志の明治神宮獻金既納者は九十八圓五十錢累計四百四十六……

□忠南禮山より　虎耳

湖南線及び馬山支線の水害を貴紙上にて拜見候得共當忠南地方の水害は道路並に橋梁を破壞せし外農作物等には被害尠なく植付も九分通り完了し南に赴くに從ひ成育著しく青々として豐年の兆を呈し居り候尤も未收穫の麥は半作との噂さに御座候

禿山は實石かな青田吹く　興之
栗の花盛る草屋に降る小雨　天安　簑
汽車に別れ自動車の青嵐　安
追分の［illegible］を鳴きぬ郭公　山

……鮮人八百九十四戸男二千五百二人女千六百六十一人計四千百六十三人外に邦人四十九戸男三百二十三人女九十……計三百三十九人支那人一戸男二女一計三合計……一千七百九十二人……なり ▲間島學校再築　昨秋焼失の間島龍井村公立普通學校は愈々再建築に決定し本月三日龍井村役場に於て請負入札に附したるが……三田第一部長は之が用件を帶びて去月二十八日間島龍井村に出張せるが龍井村より更に局子街頭道溝等を巡察し十二日頃歸任の筈 ▲國境方面警察檢閱の爲め……鏡城水間警務部長は……

谷山

▲黃海道谷山郡農況　の挿秧は六月下旬を以て全部終了し生育極めて良好なり挿期には降雨多かりしに拘らず該の箇所もなく殊に本年は邑内五箇溪の各面に水田著しく增加し當局に於ては優良種を奬勵し專ら之が普及に努力せる結果本年は成績良好なるべし ▲畝麥收穫　谷山郡に於ける收穫の豫想高は約五百三十石豫定なりしも本年は天候の不順と肥料不足等の爲め成績充分ならず二割以上の減收を見るべし……は七月七日なれども本年は……に於て有力なる……平安南道及び黃海道より……商人の入込たる結果……生産者は凡て買惜みをなし近になき雜沓を極め居れり

人事消息

▲岡本桂次郎氏（鐵道局技師）六日夜入京天眞樓
▲鈴木萬二郎氏（平壤中學校長）入京中の處七日……
▲東萬部克敎氏（高千穗商船校）七日……
［illegible］

［illegible: railway timetable strip at right margin (南行)(北行)］

南鮮水害地視察 慶尙道方面

◆所謂暴動の因 ―第五信―

神崎特派員

三日午後 金海にて

▼泥を被つた麥藁

■三日正午、龜浦を金海に向ふ巡航船には佐々木慶南道長官、前田同警務部長と乘合せ濁波滔々を乘る事一時間にして仙巖に著く。郡廳、憲兵所其他邑內の有志が出迎へてる。野津釜山憲兵分隊長は明日來應援の爲滯在中との事。車を連ねて先づ水利組合の堤防踏査に出掛ける。途上泥濘沼に似たり。

■此處も亦刈り遅れ仕上げ遅れの麥の仕末に鮮農は擧家農具を執り女人小兒と雖も手を空ふしてゐない。大道に山と積まれた麥藁は總て泥を被り水に濕り中には發芽したものがあり半ば腐れたものがある。郡廳の調査に據れば郡內の麥の被害田畓千三四百町步に及び減收七千石三割餘の損害だと云ふ

■水利組合の大堤防の袂で俥を捨て徒步堤防上を行けば左方堤外には洛東江の黃流ヒタ寄せに押寄せ右方堤內には山水滿々と溢れてゐる。現に內外の水高は相平均してゐるが前日迄は外水が數尺高であつた爲に內水を吐く口が無かつたのだと云ふ。今にしても吐口はない譯だが此一兩日中には水門を開いて內水を吐かせる計畫である。

▲三百の假小舍

□「ね君」と佐々木道長官は『堤防が新しいのと設計が不巧いので水を喫水して是れだものね、ブク〳〵に成つてるんだから水は堤防を越さなくても下から潜出るんだ。此の先の決潰箇所なぞも矢張り下から來たんだ相だ』と踏めばブク〳〵と凹み心地の堤防を踏付け乍ら言ふ。出來たての田舍饅頭の樣に凸凹と處々含水して蹶んだ堤上には、泥塗れの麥が小積まれ、堤防決潰に依る出水避難の鮮人が假小舍を立てゝゐる、廿六日には被害食滿里の村民百戶三百餘此堤上に假小舍を立連ねたと云ふ

■決潰した堤防は山水排水の爲めの小川に對してのものである。二十五日午後一時頃から漲水し初め組合事務員消防夫等必死と成つて辛くも防ぎ止めた後又他の堤脚に拳大の漬水を發見した。其れから十分間の後には凄じい勢ひで堤防は決潰し黃流瀧の如く食滿里の田と人家とを襲つた。其れは廿六日午前七時半で決潰延長は廿間に及び滿々たる洪水は堤內外約八尺に達した

▼忙しい復舊工事

■廿七日朝事務員三名避難狀況視察の爲め現場近くを行くと船に棹した鮮人に捉はれ船の鮮人は更に加はり事務員を亂打した。今迄は怪我事は無かつたのに水利組合の新堤防の爲めに此被害が湧出したのだ、と云ふ理由である、組合が一向應急修理をしないのは怪しからぬ、と食滿里民某々は隣村二箇所に檄を飛はしたが之を聞いた組合員は二十七日夜を撤し里民を賦役せしめて復舊工事に著手したと廿八日檄に應じて隣村から押寄せた群衆四五十名食滿里民の賦役中なのを見てナアンの事だと莫迦を見せられ、話は後でと其場は歸つたが、食滿里民は組合員の恐れて監督にも來ないのを憤慨し假事務所に數人が押掛けんとした、のを聞いて技師等はスワと許りに逃げ出した

事實は是れだけに止まる。其れが暴動と傳はり釜山から檢事、憲兵分隊長の出動と成つたのである。驚いて道長官、警務部長の視察となつたが要は組合の不備不行屆と誇張され過ぎた報告に貼られた警戒の袈裟が大きかつたと云ふに過ぎない。

□漢陽公園の蚱蜢取り

蚱蜢取りも樹林の年中行事の一つに數へられる樣になつた、京城近郊でも今年は二千圓からの驅除費を計上して居る、寫眞は京城府が廿六名の人夫を使役して漢陽公園の松蚱蜢取りをなして居る所で平均一人一日五十四位取るといふ

車窓縱談 ―2―

渡歐途上の 福田將軍

□我輩の對支政策

支那問題に就ては我輩も屢く實際に當つた經驗があるが怎も難かしい。實に難物だ。當局と成れば成る程難くなる。我輩の對支政策の結論は

▽百年後に解決 し得るが其以前には誰が遣つてもうまくいかぬと云ふ事に歸して來る。如何に公使の人選をしたとて、幾度內閣が更迭したとて是れ許りは巧く行かぬ。と言ふのは支那に對しては日本が最も利害相關し所謂脣齒輔車の交誼を保持して行かなければ成らないのに然も日本にはまだ支那問題解決の

▽充分な資格 が無い。さらばと云つて日本を措いた他國には倘更其資格に乏しい。結局日本が之れを解決する事になるであらうし又解決せねばならぬがまだ〳〵仲々前途遼遠だ。然も策を誤まれば遂に百年河の淸を待つ結果に成るかも知れない。一體日本は支那に何を求めるのか。一人一度口を開いて支那を說けば直に利權を言ふ。が此

▽利ミ云ふ奴 が支那に向つては一番の鬼門なのだ。是れ日本の論客識者の支那觀の根本を誤つてるからなので何言を換ゆれば日本人の支那研究が淺く薄く支那及び支那人に對して充分な理解が無いからなのだ。支那の國民性は四千年來チツトも變りは無い。唯一つ利と云ふ問題に根差してゐる。戰國策はよく

▽支那國民性 を現示して居るが、孟子が之を喝破してるではないか。利に對する觀念は全く支那四億の人心深く根を張いた弱點である其の弱點に手を觸られると支那人は非常な刺激を感せざるを得ぬ。政權なぞは怎でもいゝんだ唯利のみが生命なのだ、其れを日本人は直ぐに利權を云々したがるんだから支那人に快よからぬ感じを抱かせるのは當然ではないか。昨年起した日貨排斥の問題だつてさうだ日本の要求する處は悉く支那の一番大事にしてるもの許りなのだから問題が六ケ敷くなるのは尤もな事だ。一體日本は

▽滿蒙五鐵道 の利權などを强ひて得たものだが一體どうしやうと云ふんだらう。軍事上から言へば多少の意味も爲すか知れないが彼の利權を得た鐵道の全部が敷設される事なぞあり得るものだらうか。四鄭線だとか洮龍線だとかは敷設されもしやうが到底彼の全部が物を言ふ時は來ないだらうと思ふ。开すと利權に對しては唯とりたかつたから取つたと云ふ迄の事に成りはすまいか

然も此餘りに無意味な

▽利權獲得が 取られた方の支那人には非常な惡感を抱かせる結果に爲るとすれば大に注意しなければならぬではないか是卽ち對支根本策を誤つた結果だ。では如何する？政權に接近し接觸するにある。政權に接觸すると云ふのは決して顧問を澤山送れとか公使の人選をやれとか云ふ枝葉の問題ではない。言はんとする處は

▽根蔕ミ根蔕 との接觸なのだ。宛然たる支那と云ふ車を廻轉せしむる爲めに日本が小さな齒車に成らねばならぬのだが如何に宛大な齒車と雖も他の齒車と接觸する處は唯一箇所に過ぎぬ、觸れ處がよければ車は廻るものだ、國家政策の根本發源所に觸れるのだ、言ひ替へれば支那の國家の根元たる立法部に觸れるのだ。

●檢事の長論告

▽天理教事件續行公判

天理教權大教正松村吉太郎に係る續行公判は六日午前九時奈良地方裁判所にて開廷せり五日の公判に於て被告松村及び告訴人小川作次郎に對する審問峻烈を極めたるより興味加はり傍聽席は早朝より滿員を告ぐ閣上檢事は本件は松村に罪ありや否や小川と松村との言の何れが眞なりや之れが問題の主點なりと冐頭して二時間論告し五日小川が矛盾せる供述をしたるは裁判長の追窮に狼狽せしに依ると同情し正午休憩後檢事は引き續き去る三十二年天理教が獨立を企てたる以來の松村が陋策を非難し古賀廉造氏をも攻擊せり(大阪特電)

●血腥き宵闇の慘事

鈍刀職工匕首で友を刺殺す

蒸暑き宵闇の六日午後九時三十分頃京城黃金町三丁目菓子小賣店堀谷辰之助方にて殺人の慘劇ありたり加害者は群馬縣前橋市生れ當時本町三丁目小林定次方同居中の鈍力職工下田貞作(三三)と言ひ被害者は熊本縣生れ貞作の知己なる鈍力職工幸島順平(一三)といふ者にて當時黃金町三丁目の山本某方に同居中のものなるが

▲同夜の九時頃 順平は家主山本宅にて何かの事にて山本と爭論を惹起した處來合はせたる下田が橫より二三言口を利きたるに此度は喧嘩の火の手が下田に移りて格鬪となり山本方の脇の空地にて揉合ひ居れる內順平は『人殺し〳〵』と叫びながら約一丁許り隔りたる前記菓子商堀谷方に闖入したるを追跡したる貞作は『泥棒々々』と叫びつゝ之も侵入したるに同家にては折柄主人が不在中にて女房と娘が泥棒と聞き驚天の餘り手提金庫を抱へ飛び出したり一方同家奧三疊の室にて貞作は仰向に倒れたる順平の左乳の上部目蒐けて刄渡り五寸位なる水も滴る許り

鋭利なる匕首を突き刺し て長さ三寸深さ心臟に達する深傷を與へ拔く手も見せず次は左脇腹に柄迄も通れと刺し通したれば

▲二箇所の重傷 に順平の鮮血に染まりて卽死せしを見るや貞作は何れともなく姿を晦ましたり急報に接したる所轄本町署にては宮飯署長以下司法主任警部警察醫初め多數の警官現場に出張し一方京城地方法院檢事局よりは水野檢事書記を隨へて現場に出張して檢證する所ありしと同時に行衞不明となりたる犯人搜索の爲め本町署にては非常線を張り嚴探中の所犯人は逃るゝ術なきを覺悟してか遂に同署に自首したり依つて本町警察署係者に就て徹宵取調べをなし七日午前五時頃一先づ取調べを終へ犯人は目下本町署に拘留中なり

▲兇行の原因 に就ては事豫審に屬するを以て詳報し得ず又僅かに信ずべきにあらざるも附近其他に就て探聞する所に依れば加害者貞作は律義者にて內縣の妻なるとよ(三七)との間に八歲なる男兒あり順平は生來の怠惰者にて昨年中食ふに困る程の窮境に陷りたる際貞作は同情して自宅に同居せしめたる事あり然るに斯る者の順平は何時しか恩義を忘れて貞作の妻とよと怪しき仲となりたりとかにて世間では一般加害者に同情し居れり又とよは目下京仁線某驛地方の料理屋に酌婦稼業をなし居りて其の身の代金は全部著服したりとか、其以前順平とよの兩名は同棲しゐたりとか樣々の噂高し何れ後日詳報する所あるべし

●本浦初日取組 東京大相撲

本浦興行は十日初日十一日まで二日間と決定し其初日の取組左の如し

高千穗―常の花 一湊―逆鉾 宮木山―大の川 源氏山―九州山
兒島洋―朝日山 龍ケ崎―朝緑 近江富士―釋迦嶽 栃木山―大錦
大門岩―駒泉 稻葉嶽―四海波 紫雲龍―小常陸 西ノ海―對馬洋
男島―成瀬山 梅川―岩城山 宇都宮―兩國

●群山二日目休場

七日二日目の群山に於ける東京大相撲は夜來の雨天のため順延となれり(群山特電)

社會研究 汽車の客(四)

―晶―

乘客の同情につけ込む汽車專門の女乞食―切符は子供に持せて失ひました―五六度目に化の皮―田舍役者の惱めさ―老人幼兒の獨り旅―朝鮮鐵道が一番可哀

よく內地には箱師と言つて汽車中で窃盜を働く奴がありますが、私などもこれで十年近く朝鮮鐵道の汽車に乘つてゐますけれども幸ひに私の乘つた汽車の時には、乘客で箱師に引掛つたものはありませんでしたけれども一ツ悸らいふのがありましたよ―それは汽車を

▽當込みの女 乞弓の詐欺師或る時三等列車の中に穢しい服裝、卑しい人體の卅位の女が乳吞兒を六ツ許りの女の子を抱へて乘つてゐた。何時もの樣に切符を改めにゆくとその女は切符が無いといふ、『實は子供に持たせて置いた所便所へ行つて落した』と來た『何故大切な切符を子供などに持たせて置きなすつた』と言つて始まらねえ『兎に角、切符が無ければ行く先地までの賃金をお拂ひなさい』といふと『お錢は一文も持つて居りませぬ、實は申し上げるも恥かしい事ながら、扶とも賴む夫と別れて

▽母子二人が 喰ふや喰はずの貧しい暮しをして居りましたが、今度鎭南浦に行つて居ります夫から此地へ來いと僅かな旅費を送つて來ましたので、ヤレ嬉しやと汽車に乘ると此の失策、あゝ飛んでも無い事それとも此の子のため―此の子はまあ何んといふ子だらう』と可愛想に大きい方の女の子を毆き撲る、とその子は火がついた樣に泣き出すといふ騷ぎ、何しろ話の筋が至極哀れつぽく出來てゐるので、君も君もと誰らか宛出し合つて惠んだ金が汽車賃を拂つても

▽大分に殘る といふ有樣、成程世間に鬼は無いものと感心したが、あとで判つて見ると之れが頗る喰はせ者で、何でもその後同じ汽車中で三四回此の手を用ひたけれども、其都度車掌が變つてゐるので鑑識を出さなかつたが、折惡しく亦私の列車に乘込んで來たのが運の盡き道がに大膽な女でも私を一目見ると、サツと色を變へたが、切符を持つてゐるかと訊くと果して所持してゐない。此奴怪しからぬと警察に引渡してしまつたが、被害者は大分あつた。

▽田舍役者の 內幕程惨めなものはなく、或る請元に買はれてゆくにしても、旅費は現金を直接その座に送らず、驛長に汽車賃を托送して某月某日役者が何名貴驛に行くから乘車券を買つて與へて呉れと申し送る事が多い。それは現金を送ると借金の支拂ひに充てたりなどして一再では來ないからださうだ。朝鮮では何故か十歲未滿の子供に內地への獨り旅をさせたり、七八十歲の老人を一人で旅行させたりする事が多い。道中宜敷賴むといふ

▽首札をかけ たり手紙を持つてる者もあるが、何も持つてゐない者もある。怎んなのは大抵その地方へ行く人に面倒を依賴して置くが中々多い。ヱフ君の話は此方から問ふまゝ〳〵話しかけるまゝそれからそれへと續いて行つたが最後に『悸ういふと失禮ですけれども內地滿洲その他を通じて旅客の待遇は朝鮮鐵道が好いつていふ評判ですよ』と來た。成程然うかも知れない。『そこで―』といふ前置でヱフ君は確かに朝鮮鐵道の自讃自讃を始めだした。

▽さあ大變な 事になつたと尻をムヅ〳〵させたけれども自分に面白い所丈け聞いて逃げ出すのも卑怯な振舞と大に傾聽したが、紙上には失敬して置く事にする。しかしヱフ君自身の抱負としては旅客に對しては大概の場合自分は官の飯を食むでる者だといふ事は全く忘れて叮嚀に親切に臨むとき車掌の職務に就いて多少の理解を持つてる現代の人は、非常に滿足するといふのであつた。(をはり)

中元の御贈答品は高尙なる文房具の商品切手に組合文房具をお奬め致候を京城シノサキ商店の誇りとする處に御座候

●倉庫破りの賊

京城黃金町三丁目[illegible]錠前を捻ぢ切りて侵入し[illegible]四箱(二十二圓)を窃取し之れを賣り拂ひ面部丹洞酒幕丁俊變方にて同宿者の所持金四圓餘を窃取逃走せるが同人は[illegible]

●傷害罪の判決

平南大同郡金祭里鄭林洞金珠長男[illegible]に服する旨判決言渡さる

●連絡船上陸客

七日朝入港 六日夜入港[illegible]丸一二等客 [illegible]

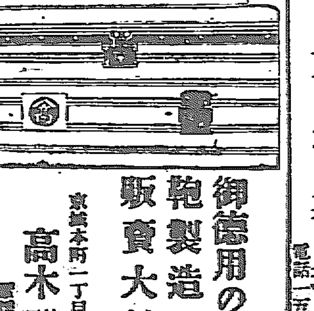
本日中は南部及び江原道附近に降雨あるべし [illegible]

天氣 七月八日 曇一時晴 [illegible]

グラス萬年筆 朝鮮總代理店(目錄送呈) 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 特約店 京城本町二丁目 [illegible]

緊急廣告
△玄米乳の僞物は滋養なきのみならず危險なり
○西大門外朝鮮人が僞物を造り本舍の名儀を詐し處罰せられたり
○本舍の配達人濱口敏一(廿二年)なる者右人僞物の勸誘員となる同人は不正の者にて本舍を解雇せられたり今後如何なる詐言を言ひ觸すやも知れず欺かれぬ樣御用心ありたし
東京化學研究所指定 京城北米倉町 玄米製乳舍 電話一五四[illegible]

旅行用具一切 東京製鞄



御箧用の支那鞄製造一手販賣大勉強 京城本町二丁目 高木旅行用具店 電話一三[illegible]

平壤酒類釀造家案內(イロハ順)

福壽葡萄酒 發賣元 平壤府鹽店里 岩田釀造塲 電話七二一番

銘酒 不二正宗 釀造元 平壤府旭町 田村酒塲 電話七四六番

銘酒 黃海 釀造元 平壤府停車場通 中村酒造塲 電話一六五番

銘酒 菊の泉 釀造元 平壤府本町 中田酒造塲 電話五三六番

銘酒 三日月 釀造元 平壤府櫻町 窪田酒造塲

清酒 松正宗 釀造元 平壤府停車場前 松岡酒造塲 電話二九番

燒酒 釀造元 平壤府里門通 增井商會

銘酒 高麗鶴 釀造元 平壤府旭町 朝日酒塲 電話六一五番

◉貴婦人會の

新明星は誰

□小笠原伯爵夫人□

□愛國婦人會にては現會長岡部伯爵夫人篤子の方が今回勇退せらるゝと共に其の後任者が誰れになるかと昨今貴婦人界の問題となつて居ります

□先づ現副會長濱尾男爵夫人作子の方は新會長として申分なき方なれ共若きに公爵夫人岩倉久子の方が隱退の際にも會長は公卿の五攝家でなくてはといはれた位ですから餘り有力ではありますまい

□併し舊小倉藩主小笠原長幹伯夫人貞子の方は最も呼聲高く現に篤志看護婦會副會長の仕事もあり新活動の舞臺に仰ぐ明星として囑望されて居ります

□猶ほ貞子夫人に次いでは龜井伯夫人久子の方でお年はまだ廿九歳なれどもなかく\に聲望あるやうでございます

◉學生讀物選擇　仁川府廳にては管内各學校に對し生徒の讀み物を選擇すべき旨の通牒を發したり之は近來生徒らに人の好奇心を挑發して非教育的なる雜誌を賣する者少なからざるにつき未だ思慮の定まらざる少年少女に有害すれば學校に於て選擇せし良書を讀ましむべしと

◉尙州機業學校　慶北尙州郡は從來紬の産地として有名なる所なりしが今回同郡に於て簡易なる機業學校を設立し專ら婦人女子に在來の智識と技術を授くることとなれり開校式は七月一日盛大に執行されたるが現在生徒數は□□名年齡は二十歳乃至二十二三歳にして修業年限は一箇年なり

◉農商工部十日會　總督府の農商工部内の人々が組織し社交的娛樂に年むの（以下略）

ゼラニューム

―△會いろく\▽―

◯咸桂會京城局（利音町）八日午後八時より開く會の熱心なる同好者の出席を希望す

□忘機吟社例會　右吟社例會は九日開催龍山曹谿寺に於て開催多數同好者の出席を希望すべしと

□鍾路小學校講演會　七日午後警務當局より講演あり衛生に關する講話と衛生使用法の講習會あり

□禮式講話　八日九日の兩日午後四時より花山茶道教授池田柳子氏の禮式講話あり會場は旭町一丁目九四

□小學校長會議　八日午後一時半より中大門小學校にて開催、三日目は武田高等女學校長及び□□國語講習の講話ある筈

米の御料理

□西班牙式味付飯

△材料　米三合、大玉葱一箇、にんにく少々、オリブ油大匙一杯、トマト二箇、ハム二片、チース少々、青胡椒六個（朝鮮もの最もよろし）ソーセージ一斤半、鹽胡椒少々

△製法　先づ米を日本流に炊ぎ置き別に玉葱を薄く刻みてフライパンに入れオリブ油を注ぎて火にかけよくいためたる上皮を去りたるトマトを五分角位ゐに切りそれをも加へ猶ほハム二片と青胡椒を細く刻みたるものをも同時に玉葱の中に混へ充分攪き廻して穴の通りたるところにて鹽及び胡椒にて鹽梅します、斯くて前に炊ぎ置きたる御飯をその中に入れ焦げ付かぬやう炒りつけて皿に盛り其の上にチーズの粉おろしをふりかけソーセージと共に食膳に供す

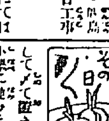
▲注意　御飯は硬く炊きたる方よろし、またソーセージはクラブソーセージなる罐詰入りを使用するもよし出入の肉屋に注文せらるゝもよし何れも鍋物として鍋に入れまたは燒きて用ゐる（朝鮮ホテル支配人談）

◉小學校午前授業　府内各小學校にては七月三日より同二十一日まで午前八時より同十二時限りの授業となれり

◉群山水産學校　從來公立農業學校内に於て授業中なりし群山水産學校は今回船江舊居に校舍を新築するに決せり

◉小學生の站蚣取　鍾路小學校男女生徒四五六年生は六日東小門外の學校林に松站蚣の驅除に赴きたり

◉仙島の普通學校　龍川郡仙島公立普通學校は今回新築に決し七月三日工事入札を行ひたり



回すゝき柏むし　すゝきを三枚に卸して身を去り小骨をぬきうすく鹽をしてしめにしてそぎとり二十分間程うす酢に漬して水氣をふき取り別に小鉢に玉子を溶きて白味噌と混合して鹽こしにしたもなを入れだしさきとを加へて火にかけ…と前のすゝきにあんの如くにしてたっぷり込みせはさみ切る位の加減まで煮つめてさましたものりもむし魚の色白くなるを度として皿につけるいろに布巾を敷きて其上にならべ十五分位はかみその中に白山椒など加へて詰るもよし（青木女史）

番茶のあとこ

南山の幼稚園では來る十一日から暑中休暇となりますが、お休み中は園生一同朝顏の鉢植を培ることとなりました△また幼稚園の蔬菜園は黃金町二丁目にありますが昨今胡瓜だの廿日大根などが出來て園生一同大よろこびで居ります△昨今お庭の涼し相なポプラの木蔭には白いエプロンの坊ちやんや孃ちやんが何れも樂し相に跳ね廻つて居ります

婦人界消息

△權藤俊子（李王職事務官夫人）産後の御病氣にて加療中

△高野はま子（三井物産支店長夫人）六日内地より歸京せられました

神社と教會とお寺

○龍頭神社（龍山）今回公園の造營と共に龍頭山頂上に奉遷することとなり六日盛大なる遷宮式を行ひたり

○護國寺（旭町三丁目）八日午後一時より□□

南洋ボルネオの護謨園と猛獸

□椰子の密林と天狗猿と象、豚□

◇南洋ボルネオは大さ約日本の四倍大、全島たゞ千古斧鉞を入れた事の無い椰子の密林が高さ七十尺以上に伸びて晝尚ほ暗き有樣である◇其の他朱檀、黑檀、鐵刀木等高貴の樹木も多いのであるが到底これを伐り出すことが出來ぬから畑にするには火を放つて燒くのである◇椰子は植付後七年目に實が生るが數は一箇年七十個乃至百個位ゐで、實の中心は淸水のやうな汁と其の外側に六七分の白い部分がある―之は石鹼の材料となる◇また其の外側には棕櫚の毛の如きものがあつて專ら織物の材料となる◇其の椰子の木の上には無數の天狗猿といふのがチヨコく\飛び歩いて居るが此の猿は長さ二三寸のブラく\した鼻を有つて居て一度怒ると其が固くなつて突立つといふ妙な動物である◇其の他熊、象、豺などの類から河沿ひの鰐や毒蛇なども無數に居るが象はまた四五十頭も一群になつて人里近く遊びに來る◇そして折角植林した開墾地に大きな足跡を印して行くので困つて了ふ◇またボルネオには猫位ゐの野生豚が居つてそれが護謨園に護謨の根を喰ひに來るので鐵條網なども用を爲さぬ位ゐである◇併し何分幾十エーカー（一エーカーは日本の四反）の廣い護謨園のことであるから其の中へ五百や六百の野生豚が這入つても何處に居るか分らぬ位ゐ◇護謨は植付後六年目から護謨汁が採れるが一度此の豚に荒されると二年程は全く損失となつて了ふから是等の動物の被害には各植林業家は最も惱まされて居る（野村徳七氏談）

商況

東京株式特電

七日	前場寄付	大引
日本郵船	三九、一〇	三九、三〇
京紡電氣	一七六、七〇	一七七、五〇
鐘淵紡績	一五五、五〇	一五四、三〇
日本麥酒	―	―
東株第一	―	―
東株第二	―	―
東新第一	―	―
東新第二	―	―

債券現物特電

七日川東現段（前日との比較）

東洋拓殖	六一、〇〇	
京城電氣	―	
朝鮮銀行	―	
朝鮮瓦斯	―	
南滿鐵道	―	

東京公債直取引特電

七日出來値段（前日との比較）

五分利公債	九六、二〇	
五分利甲號	八一、五〇	
四分利公債	―	
甲號五分	九五、九〇	

深川在米特電

七日現在高

朝鮮米	六〇、二三八
地廻米	七、五三一
内地米	四、二四八
（計）	一、一六四

東京期米特電

七日	前場寄付	
七月限	一四、三七	
八月限	一四、四八	
九月限	一四、二九	
十月限	一四、四〇	

大阪株式特電

七日	前場	
大阪商船	[illegible]	
大阪電燈	[illegible]	
日本綿花	[illegible]	
大日本紡	[illegible]	
東洋紡	[illegible]	
京阪電鐵	[illegible]	
阪神電鐵	[illegible]	

大阪三品特電

七日前場

七月限	一三七、一〇	一三七、二〇
八月限	一三七、〇〇	一三七、〇〇
九月限	一三七、〇〇	一三七、〇〇
十月限	一三七、一〇	一三七、二〇
十一月限	一三七、〇〇	一三七、〇〇
十二月限	一三七、〇〇	一三七、〇〇

大阪期米特電

七日前場		
當限	一三、三一	
中限	一三、八一	
先限	一三、〇〇	

下關期米特電

七日前場		
當限	一三、二三	
中限	一三、一五	
先限	一三、二〇	

雜報

◉鐵材更に不味

乃至六十錢鐵板類に至つては實際十圓五十錢の取引

◉綿布底固し　軟味持合

◉砂糖益々好調　荷動き頓に

◉頻察に加ふるに至れり問屋筋も手控へ勝なり

◉其後の正米

◉精白値上げ　五十錢値上に決し標準値を十四圓

◉小賣白米値上げ　五厘方引上

下關相場

△朝鮮米（保合）白米二百五十叺の入荷ありしが…

▲大豆（不振）…

南大門の廻穀

水原玄米	二〇八叺	金村精白米
深川玄米	三二八叺	金村白米

仁川現物市場

釜山物市場　六日

▲正米（二十錢高）本井大阪定期米

確實　迅速　㋮ 廣澤正次郎

（吉）行賣仲買店　仁川　電話一〇二・二四〇番

日　仁川米豆取引所仲買人　仲買店　支配人　土居勝　電話二八二番・二八三番

仁川期米

▲七日前場　中十二圓二十五錢

十一圓二十四錢

大阪前寄十四圓三十錢丁度と昨止より六錢安の入電二節二十八錢二節三十七錢と高移り大阪七節三十錢と安移りに

市場零聞

▲前場は不勢　軟派は乘替賣を發し硬派は中限を喰ひ

▲中取組減少

▲前場の手振

▲退き先限は見送り

▲二十一錢と不勢

▲大阪の浮足入電

▲大減少を示した先限

中限は約五萬石

七千三百五十石

方の乘り替多

▲目先小天井乎

三十六錢と昂騰し遂に二十一

仁川米豆取引所

七日の九月限

前場		
寄付	十一圓二十二錢	
止め値	十一圓二十一錢	
高値	十一圓二十六錢	
安値	十一圓十一錢	
出來高	三萬四千七百石	

平均値段

一節	十一圓二十五錢
二節	十一圓三十錢
三節	十一圓二十二錢
四節	十一圓二十一錢
五節	十一圓二十五錢

賣買取組高

七月限	五萬二千五百五十石	
八月限	三萬六千七百石	
九月限	二萬八千百九十石	

六日後場	前日と較比
一二、二六	六高
一二、三八	七安
一二、三〇	一六安

北濱だより

▲株式と利下影響

▲受渡しに就き　米豆取引所に於ける受渡しに就き…

▲叺問題にて小紛擾

▲檢査叺に重きを置き米の良否に重きを置く檢査所と取引所との間に受渡米

▲盡した後の立直り　弱材料を賣り

▲目先小天井

▲錢と小氣崩

祝仁川支局發展　仁川新町三丁目　高雄仁川支店　電話二七七番

祝仁川支局發展　キッコウトモヱ醸造元　三巴醬油醸造場　仁川桃山町　電話七一三　振替京城一壹三六

祝仁川支局發展　海上運送沈沒船解體業　山下吉藏　仁川本町一丁目　電話一〇八番　電略ヤ（又はヤマ）

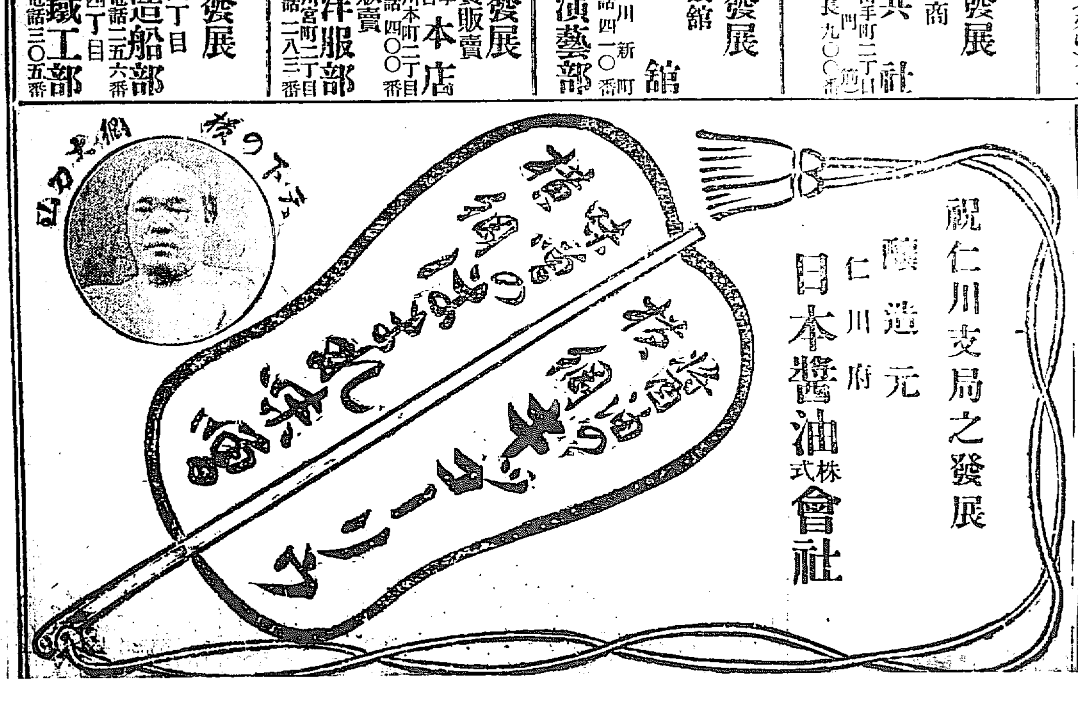
祝仁川支局發展　銃砲火藥免許商　三共社　仁川山手町二丁目（元門）　電話長九〇〇番

祝仁川支局發展　活動寫眞常設館　瓢館　仁川新町　電話四一〇番　新田演藝部

祝仁川支局發展　歐米雜貨確實販賣　大石吉季本店　仁川本町二丁目　電話四〇〇番　洋服絨製品販賣　大石洋服部　支店仁川宮町二丁目　電話二八三番

祝仁川支局發展　（百）光田造船部　仁川本町四丁目　電話二五六番　光田鐵工部　仁川濱町四丁目　電話三〇五番

勝　致富之寶筏代送呈　大阪堂島米穀取引所仲買人　曾我商店　（朝）（米）



宮本武藏

第九十二回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

齋戒沐浴身を淨め、日頃念ずる神佛を祈つて善鬼、典膳の兩人は相待つて居りまするを、丁度四日目の朝、友景老人は一ト間の中に支度を調へ其へ立出で 友『扨て兩人揃て申渡した通り、今日こそ心得の勝れた方に極意皆傳を致し、且つ三卷の秘書を授けるであらうから、其方達は其れに控へて居るやう、後刻私しが呼んだら一人宛參るやうにと云つて、其儘自分の居間へ這入つて終つた、善鬼と典膳は別間に控へ、今や遲しと相待つて居りまする、暫時經つと友景の聲で 善『善鬼、善鬼參れよ』と呼ばるゝから、善鬼はハッと思ひ、善『ハイ、只今參りまする』と云ひながらツカ〳〵と其へ參り障子を開けて這入つた師匠の居間、向ふを見ると、二枚折りの屏風が立つてあるから、其の屏風の下に寄つて内の樣子を伺ふと、寂りとして物靜であるから何と思つたか善鬼は『エイッ』と一聲叫んで兩足を縮め屏風の中へ飛込んだ、スルと友景老人は向ふの隅に坐つて居てニコ〳〵笑て居たが 友『アヽ善鬼、飛込んだな、宜し〳〵彼方へ參れ』と云ふから善鬼は元の座敷へ戻つて來た、友景は 友『アヽ典膳來いよ、典膳參れよ』と呼ばれて典膳は 典『ハアーッ』といつて來て見ると向ふに屏風が立つてあるから、飛込まうとしたが、考へて、屏風の上へ手を掛けて中を覗いて見た、スルと友景は笑つて 友『上から覗いたな、宜い〳〵退がれ』といつて典膳を退かしたが、改めて兩人を招き、友『扨て兩人を試した所が、技倆は互角といへども、其の心得は善鬼より典膳の方が勝れて居る、如何にといへば、善鬼は屏風の中へ飛入つた若し異鍛を以て切附けたら、何とする身を轉す術なくして、其儘に一命を捨つべし、其に引替へ典膳は屏風の上より覗き込む、若し切附られたればとて、聞に屏風を控へ、見定めたれば身體自由に働らける、此邊の考へは年若といへど典膳の方が勝つて居る、依つて天地人三卷の秘書を讓り、極意皆傳を許すは典膳である、容事は新古老若を問はず、勝る方を吉といたす、以來は典膳に附て出精をいたせ、神子上來いよ』といつて典膳の手を取つて奧へ這入つた、取殘された小野善鬼は兩眼に涙を浮べ 善『我ながら愚の至り、其の心懸け典膳に劣りし許り、三卷の書を彼れに奪はれ、何面目あつて生存へん、一層切腹して相果ん』と刀を取つて引寄せしが、イヤ待て暫し、死は安く生は難し、斯くなる上は破れかぶれ、奧の一ト間へ踏込んで、那の三卷を奪つて與れ、當所を立退き何れの地へか參つて身を安く致さうと思つたから、其儘に立上り密と奧の一ト間へ來り、次の間から樣子を見れば友景老人、三卷を三寶に載せて典膳に遣はす、神子上は押し戴き 典『不肖の典膳へ御皆傳下され、有難く存じ奉る』と受け納めんとする時に、間の襖をサット引開け 善『アイヤ其の卷物は善鬼が申受ける』と云ふや否、飛込んで右の卷物を引攫みハラ〳〵〳〵と表の方へ驅け出した 友景老人是を見て 友『ヤア不屆至極善鬼心得違ひを致すな』といつたが善鬼は耳にも止めず、一散に驅け行く樣子、友景は大きに怒り 友『憎き奴、典膳逃すな追駈よ』ハッと心得典膳は追取刀、善鬼の跡を追つて行く、一刀齋友景も同じく杖を力にして追つて參つたが、何分にも老足の事ゆゑ息がはずみ、遙かに遲くれます、此方は小野善鬼宙を飛ぶ如くする、千里一時虎走り、砂を蹴立つて敦賀の山中、麓をさして逃げ來る、後の方より神子上典膳血相變て追來る樣子、迚も此まゝ逃げ切れず、如何なさんと向ふを見ると、彼方の砂地に鹽瓶が七八つ列んで伏せてあつたから、之を幸ひと思ひ、善鬼は右の鹽瓶の中へ隱れて、萬一知れて瓶に手を掛けたら兩足を拂つて與れんと、一刀の拵に手を掛けて息を殺して居りまする、處へ遲れて馳來つた神子上典膳、善鬼の姿見ねざれば取逃したか殘念と四邊を見廻して居ります

ぬしはキヤラメル　坊やは千菓子　妾しやアンパン木村屋の（京城明治町 電二八七[illegible]）

京城南山町三巴城館通 電話二九二〇　齒科診療　橋本科醫院　齒科醫學士 橋本清次郎

京城旭町一丁目四番地（本町通り左へ入る）　外科 花柳病 皮膚科 耳鼻 内科 咽喉科　島崎病院　電話二七三六番　診察夜九時迄　院長 醫學士 島崎龍一　手術室新設、隔離室、普通病室設備　入院隨意

七月九日九星　舊六月十日丁未　本命二黒坤[illegible]

[illegible]

演藝案内

黄金館　電話一八五二（階上）一六三七（階下）　天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
七月七日より特別大興行　○實寫伊太利ラベロの景○滑稽ウニンの戀人（滑稽）○新派劇高坂霊験記　全二卷
△世界的名篇○大冒險大活劇「名金」全二十二編　[illegible]
○新派大悲劇「想夫憐」全三卷
[illegible]

壽座　本町　電話五七八
我等が家　蝶々會　八日目替狂言
一生死一場一娘節用三場三花實娘言葉
[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三
七月五日より特別大興行
○宮劇の掛圖○實寫埃及ナイルの風景○滑稽ジヤナタラ嬢さんの丸燒○米國トランスアトランチツク會社傑作世界的大冒險
○泰西大冒險大活劇「パー3」自第六編至第十編全十卷　第二回目
[illegible]
○義士銘々傳間重次郎全三卷百二十三場　[illegible]

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　黄金館
七月七日より特別大興行
大々好評
「第二名金」第三編 第四編
△寫眞の眞價は本フキルムにあり

二日目又々滿員　世界的大冒險大活劇「パー3」　二十五編五十卷の内第六編より第十編迄上場

義士銘々傳　▼義士劇第四編▼　間重次郎　特別興行　大正館

浪花館　明治町　電話一六〇番
東京落語三遊亭遊三一行來る
[illegible]

御成座　戊町　電話二九一
第廿三回替藝題
一番目　喜劇宮本左門之助　全五場
二番目　悲劇ハルビンお玉　全二場
[illegible]

お若く見える……

クラブ水白粉の薄化粧

此の

クラブ水白粉は生來色艶の美しい樣な鮮かさに附いて如何にもお顏を若々しく見せ純潔な氣品の高いお化粧が出來ますから近來東京でも大阪でも此のクラブ水白粉の薄化粧が非常な流行でございます

梅毒
[illegible]の服藥スピロール六〇六號應用品あり壹週分金壹圓前金に限り送料不要　藥劑師 筑前直方 森藥局

りん病七日藥
主治　慢性淋病　急性淋病　膀胱加答兒　尿道狹窄　子宮內膜炎
三日デ治ツタ七日デ治ツタ
[illegible]
大阪市堺筋周防町南入　山口龍三郎

たむし　水虫 頑癬 治療良劑
殺虫 無痛 速効
[illegible]
田虫 いんきん 皮膚病も快治す
[illegible]

ルーデサック
男用一打 [illegible]
△花柳病自宅療法
京城永樂町二丁目交番北
東京ドラック商會滿鮮本部

小兒良藥
樋屋奇應丸
專治
소아의실신간질
급발성열증
等に奇効神の如し
到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

本院　京城支部領事館前　電話一五四一番
分院　龍山鶴壽温泉　電話一一一番
診察　京城午後自一時至六時　龍山午前自八時至十一時
中村耳鼻咽喉科醫院

世界各國輸出品
金牌受領
「猪印のみとり粉」

山豚票
벼룩파리빈대잡는약
定價　吹出器入 金二十錢　立罐入 金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ

淋病新藥内服
リコール
發賣元 東京市日本橋區本町
[illegible]
大阪代理店

京城日報

第三版

自作自給と機織

京城日報

自作自給、吾人の常に唱道する所にして、苟も何人も忘るべからざる事に屬す。然れども自作自給は、容易に行はれ安きが如くにして、必しも行ふに易からざる處あり、努めて行はずんばあるべからず。努めて行はんとせば、之が研究を怠らざるべからず。吾人は其の研究の結果として、最も有望なる家庭工業の發見されしを聞き、洵に喜びの禁せざるあり。而して其の家庭工業が、今や既に日進月歩の勢を以て、著々諸地方に普及せられんとしつゝあるは、實に吾人の意を得たる次第にして、自作自給上より、朝鮮の爲め慶賀せざるべからざる處なりとす。

吾人が夏時市中を往來する時、所々機織の音を耳にするは、頗る珍しき感なき能はず。從來京城市中に在ては、冬季機織の音を聞く事ありしも、初夏の候より終夏の候にかけて其の音は殆んど耳にせし事なかりしも、此二三年以來、年と共に機聲の增加するは、普通人には餘り意に留らざらんも、之れ即ち吾人の今謂はんとし、奬勵せんとする家庭工業、自作自給の實現を證する一端也とす。元來京城に於ける、機織の業は僅に一部の家庭工業となり居りしも、而も木綿糸を以てする所謂木綿織の外之をなす者なく、又成し能はざりし也。彼の麻織、苧織の如きは、其の原料を製するに當り、績がざるべからざるに、京城の子女は此の技量なきが故に、勢ひ木綿物以外には機織の業を缺げり、故に僅に冬季木綿織を以て、其の家庭の工業となしつつありて、而も其數頗る少數なりしが、今や兩三年間を以て之に比較せば、今日の京城には實に五百餘の機臺を有し、容易に一日一千反の產出をなしつゝあり。而うして其製產品は朝鮮人の需要頗る多く、目下にては殆んど其の供給の間に合はざるの情況にあり。然り而うして其製產品が、支那其他より輸入さるべきものに比較し、遙に安價にして、且つ品質の優れる點に於て、益々有望なる家庭工業たるは論を俟ざるなり。

抑も同機織の起原を聞くに、曾て中央試驗場にては、自作自給主義の貫徹を計り、朝鮮輸入品の重なる物を調査し、而して之を自ら作りて以て國內の需用に供せんとし、當時調査の末、三年以前木綿絲に加工して原料を造り、紬繻織と稱する一種の織物を發明せるが、端なくも其の製品は輸入物に優り、需用非常に多く、何時しかより之が市中に傳はり、一種の家庭工業となるに至るや、忽ち四方に傳播し、更に近郷に傳はり、倘ほ益々其の有望なるを認らるゝや、新羅織と並んで、漢陽学なる新織物の發見もありて、其の傳播膨脹の勢、實に旭日昇天の觀あるは、洵に斯業の爲め喜ぶべき次第なりとす。

以上の事實を以て、機織は今や一般家庭工業として認られ、製產逐日增大に赴き、其の需用が唯に鮮人のみならず、內地人側にても歡迎せられんとする有樣に見るも、其の前途の益々有望なるは明白にして、支那其他よりの輸入品も、現時の勢を以て進まば、直に之を市場より驅逐する、亦容易の事たるは疑を容れざる處なり。吾人は斯る工業の織出を喜ぶと共に、一方之れが保護奬勵に努むべきを希望す。

城壁文學

(第四)漢陽都城の築造

小田省吾

(五)京城都城の眞の太さ(承前)

斯く尺度の標準が定つて見れば始めて都城の大を測ることが出來る。即ち太祖朝に築造した城壁の全部は前節に述べた如く

石城	一萬九千二百尺
土城	四萬三千百尺
水口	一千零五十尺
雨傍	
計	
合	六萬〇五百五十尺

であるから、之を曲尺に換算すれば六萬一千百五十五尺五であつて、恰も四里二十六町十二間三尺に當る。余は之を以て太祖期都城の比較的眞に近い周圍の長さと信ずるのである。然るに玆に一つ別の材料がある。其は李朝英祖の時に出來た續大典に都城修築の事を記して

都城太祖朝築、世宗朝改修、周一萬四千九百三十五步(周尺八萬九千六百十尺)高四十尺二寸

とある。之は明に周尺に依つた事を示して居て、余は他に斯くの如く尺度の標準を示した記事を見たことがない。之は實際修築したのであるから此測量は餘程確實なものと認める。此に掲げた步數を東國輿地勝覽等に載せたる步數九萬九千七十五步に比すれば實に大なる差であるから、後者の周尺に依らざるものたるや一見明かである。今最初に掲げた尺度表により、一萬四千九百三十五步(周尺八萬九千六百十尺)を曲尺に換算すれば、六萬一千七百九十尺となり、恰も四里二十四町一間に當る。之を上に計算した太祖朝都城の周と比較するに、二町十一間三尺だけ短いが、大なる差ではない。思ふに後世度々の修築を加へた爲め多少の出入を生じたものであらう。續大典は今より百七十餘年前のものではあるが、余は之より以後に精密測量したものを知らぬ。又其の後には大修築もなかつた樣であるから、現在京城城壁の周長は之に據るが正當であらう。

尙序ながら東國輿地勝覽等に普通錄載する九千九百七十五步即ち五萬九千八百五十尺(尺度無標準)を假りに營造尺の割合を以て曲尺に換算すると六萬〇四百四十八尺五となり、典律通補のを曲尺に換算したのと僅に十八尺二五の差あるのみである。由て之も亦營造尺に換算したものと思はれる。城壁の高さに就いても述べなければならぬが、あまりくだくしいゆゑ省略する(未完)

南北支那經濟觀

□濟南を經て青島に到る

木村鮮銀理事視察談(三)

制錢輸出と山東鐵道の經濟的施設―青島市街―貿易總額―山東牛の供給―有望なる工業

▽制錢輸出盛況△

濟南では近頃盛んに制錢買の成金が出來て、青島方面より之れを當て込みの料理屋業者などが入り込んで繁昌して居るさうだ。制錢の輸出は昨年より今日まで千萬圓に上るといふ。而して尙三百萬圓ばかりの現物が青島にあるとの事。制錢買の日本人が支那內地に入込み支那人の死藏せるを買込み年々段々奧へ行き、隨分彼等は奧地では迫害も受け殺傷沙汰さへも生じたといふのであるが、聞けば日本人の方にも無理が無いでもないとの事である。制錢の輸出については天津では禁止の事を話したが、同一命令が青島にも發せられて居た。併し青島には軍政に依つて支配せられて居る事故、其取扱に就ては多少の差がある樣であつた。青島では日本居留民より制錢輸出禁止の不可なる旨の陳情書を軍政署に提出し居り隨分混雜の時であつた。濟南の日本人は千二三百人で支那人は二十萬人居る。銀行は支那側の外に正金銀行の出張所がある。正金は制錢の爲替取組にて相當繁昌して居るさうで、何日まで此れが續くかは勿論銅價の相場如何によるのであるが、山東省には殆ど制錢が無限に死藏されて居るとの話であつた。青島には制錢の溶解所が數箇所建てられ作業に忙しいと見ゑて煙筒より煙が立ち昇つて居た。濟南よりは山東鐵道によりて青島に行く。

▽山東鐵道と獨逸△

山東鐵道は人も知る如く當初獨逸の經營施設に成り、極めて經濟的に建設せられたので我政府も占領の儘にて改良を加へず客車等も古いものを使用し居る爲隨分ガタ〳〵して、汽車の搖れること甚しく、車內で飯を食ふに口まで運ぶに困る位である。此鐵道の線路に沿うてアカシア樹が植ゑ列ねられて居る、此植林は單に風致の爲めのみでなく、山東鐵道の枕木は鐵で作られ、それが腐蝕しかける頃にはアカシアが枕木に使はれる、その準備であつたらしいと聞くに及んで今更獨逸人の遠大なる計畫に驚かざるを得ない。

▽青島の現狀△

青島は一時よりは餘程衰へたやうだが、日本人は一萬五千人から居る。近頃は制錢輸出の爲めに相當に賑つて居る。街路の整然として家屋の立派なるには感心したのであるが、併し家屋は體裁丈けで、安い費用で經濟的に建てられたものであると云ふ。青島では一日自動車で戰跡見物に出かけた。各所の砲臺なぞは今は殘骸を掘下げて掃除されてるので、戰爭の跡は充分に見る事ができなくなつた。聞く所によれば青島の砲臺は極めて粗惡な材料を用ゐて造つてあつたさうだ、それは初め獨逸が支那に貸付ける爲め材料を輸入したのであつた代價不拂の爲め仕方なく青島の防備に用ゐたのだと云ふ。若し此砲臺が最新式の構造であつたならば、日本が青島を陷るゝ事はあれほど容易ではなかつたかも知れぬと云ふ人もあつた。青島は餘程有望の所で、獨逸時ですら貿易の總額は既に一億圓に上つて居つた。將來天津其他の支那の貿易港と拮抗して相當盛なる貿易港となる事は期待し得られぬ事はあるまい。只現在では青島在留邦人に風來者多く、又中流以下の者の住む家が尠いのに困つて居る。目下淺野總一郎氏一派の建物會社、其他貸家の建築を計畫し內外綿會社が支工場等の建築をはじめて居る。

▽山東牛の輸出△

有名な山東牛は需要も多く輸出も盛なるであるが、今に其供給が缺乏を來しはせぬか、之れが爲めに牝牛の保護を要しはせぬかと憂ふる人もあるが、牛は必ずしも山東省のみに限らず、山西、河南省を始め蒙古の一部に產する牛も皆山東牛と稱せられて輸出される故、まだ〳〵供給に不自由を感ずる事はない筈だと聞いた。最近に馬尼拉より六百萬圓度の牛肉の注文があつて頻りに騷いで居つた。形勢は某外國人に落札しさうであつた。これをやるには冷藏庫の設備を要する等一時的即ち一年限りのもの故躊躇して日本人が手を附けなかつた間に外國人は躊躇せず遂進して居つた。當局者も外國人だからとて許可せぬ譯には行かず、軍政署は困つて居つた。

▽青島と工業△

青島には工業を起す餘地があるに拘らず日本人が進んで之に當る丈けの抱負と勇氣を缺いて居るのは遺憾の事である。青島には東洋一の屠牛場がある。嘗て獨逸人が經營したもので百五十噸の起重機を備へた堂々たるものである。此他一萬五千噸の浮船渠なども共に代表的大施設である。青島ビールの工場は獨逸式で、近く大日本麥酒會社が買收する契約が成立したさうである。麥稈眞田は山東の特產である、品質も良く利益も多いが、これ丈けは日本人には眞似が出來ぬ。何しろ流行品の原料であるから歐米の流行界の趨向を知つて之に應ずる事は獨逸人の得意とする所であつた。若し此の有望なる事業を日本人として經營せんとせば、需要地のデパートメントストアなどとも相談して嗜好の變遷供給の時期などを適切に知つて如何に投ずるの方法を執らねばなるまい。三井物產なども未だ麥稈眞田の事業には手を著けて居らぬやうで、三井は海外に支店も有する事だから何とか研究して此事業に著手したら可からうとの希望も聞いた。

大阪期米特電(七日)

日本郵船 東京米株 鐘紡新株 大阪株式 [illegible]

	寄付	高値	安値	止め
當限	一三、七八	一三、九〇	一三、七八	―
中限	一三、一〇	一三、二五	一三、一〇	一三、二五
先限	一三、七〇	一三、八〇	一三、七〇	一三、七九

▲續て不勢 [illegible]

▲後場の手振 [illegible]

七日の九月限 十二圓三十八錢 十二圓二十二錢

七月限 五萬二千五百五十石 八月限 五萬七千八百五十石 九月限 三萬七千二百石

入日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金壹圓 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 合資會社京城日報社 太平通一丁目

京日案內

普通 (一回前金三十錢增割引 匿名一回每に金五錢增)
番外 (一回前金六十錢增割引 匿名一回每に金五錢增)
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

●乳母至急入用 希望者は京城南大門通(藤木商店橫上る)胃腸病院へ來談 637

●古本熱心高價買入 御報參上 本町四丁目 古肆群書堂 ●是非御試用を乞 ●電話二七八一番 ●讀下宿在京城日報の掲示場所都合により安價にて讓る 636

(姓名任意) 拾もち 文臺堂 870

●●●黃灸專門 ●神經痛 ●胃病 京城並木町五十八番地 佐野岡春堂 629

●讀飲食店市內有望場所希望の方は 電話二九三〇番へ 649

●店員入用 但し商業に經驗有る者に限る 青葉町二丁目 大和町三丁目 大橋三郎 650

●素人下宿 本町四丁目 湯隣 小野崎 653

尺八 都山流教授 京城本町二丁目 竹要會 入會隨意 652

有給外務社員採用 履歷書持參午後五時より來談 明治町二丁目 熊澤保 658

禮式講話 小笠原流 水引細工 南山本願寺に於て每月九日午後二時より 654

廣橋自働車 南大門通一丁目 電話二一九番 京城明治町二丁目 主務 金正淵 648

內科 小兒科 女醫 川崎朋子 長電話一五〇四番 651

移轉 龍山分店 龍山元町二丁目八十一番地 シンガー會社 643

●店員四名採用す ●集金人壹名 但し年齡廿五歲以上確實なる保證人を要す ●志望の者は申込あれ 京城府黃金町二丁目 シンガー會社朝鮮支店 643

電話開通二八五七 萬染物商 京城魚市場隣 若宮染工場 634

外務員採用 志望者履歷書持參ありたし 明治町一丁目 東京國債朝鮮支部 639

間自働車 乘合 京城發午前八時 春川發午前九時 貸切片道四圓 京城水標橋通り 松田壽男 50

恩給年金月給 保證人不要 即時 御立替 京城永樂町一丁目 江州屋本店 625

●外交員貳名募集 希望者本人來談あれ 日本生命保險株式會社仁川代理店 鈴木倭 628

商品切手 何處の商店も高價買入申候 (御報次第參上可仕候) 電話一八八七 旭町二丁目角 橫山商店橫入 ○旭商會 844

●東亞煙草株式會社特設廣告欄●

●中元大賣出(七月十日締切)
期日切迫餘す所三日
中元の御贈答には東亞の煙草に限る
景品付

賣出煙草

景品即時引換
七月二十日迄(每日曜日)
引換所 京城明治町二丁目 事務所
仁川新町 仁川組合

空袋引換

八千代 敷島 芙蓉 第二回目
空袋二十枚と景品抽籤券付敷島壹包と御引換申候

しらぎ 空袋二十枚と
百圓 空袋三十枚と
大正館 黃金館 優美館 何れか壹枚 若しくは 實物貳包 實物參包

右は每日大平通一丁目明治町二丁目事務所にて引換申候

●黃金館入場者へ 御土產進呈
當分の間左記當社販賣店にて黃金館入場券御買求めの方に限り
△一等券 一枚に付 百圓票 一包
△二等券 二枚に付 しらぎ若くは朝日壹包
△三等券 三枚に付 敷島 壹包

入場券販賣店
本町三丁目 森田煙草店
本町三丁目 前川煙草店
黃金町三丁目 富士煙草店

模造品出現
三煙の賣行き飛ぶが如きを見て外觀のみ眞似たる類似品を發賣するものあり
御購求の際は東亞製に御注意を乞ふ
朝日 しらぎ 百圓

◎日露協約要領　七日外務省發表

六日發表の筈なりし日露新協約は七日に至るも電報未着の爲め成文の發表なかりしも外務省より發表せる要領左の如し（東京特電）

七月三日露國ペトログラードに於て調印せられたる日露協約の要領左の如し

一、日本國は露西亞國に對抗する何等政治上の協定又は聯合の當事國とならざるべし露西亞國は日本國に對する何等政治上の協定又は聯合の當事國とならざるべし

一、兩締約國の一方に依り承認せられたる他の一方の極東に於ける領土權又は特種利益が侵迫せらるゝに至りたる時は日本國及露西亞國は其の權利及利益の擁護防禦の爲相互の支持又は協力を目的として執るべき措置に就きて協議すべし

◎日本艦隊優待さる

新西蘭政府は日本練習艦隊司令官松村少將以下各將校を招待して午餐會を開きたるが國會議員は全部臨席し盛會を極めたり新西蘭首相は歡迎の辭を述べて日本は出所進退其の所を得たりと云ひ日英同盟の幾百年に渉りて永く繼續せん事を希望せり（倫敦電報）

◎政府の戰爭中止命令

北京政府は五日廣東に電報を發し戰爭を中止せよと命令せり（北京特電）

◎國會議員召集通告

張將軍は政府の命令に依り奉天省内の國會議員に對し來る二十五日前に北京に赴くやう各縣知事を經て通告を發したるが同省議員は總數二十五名にて其の大部分は帝政勸進表に署名したる者なれば中には恥を知りて參列せざる者もあらんと（奉天特電）

◎唐紹儀上京打電

唐紹儀は外交總長に就任するや否やは別問題として兎に角上京するに決定し五日其の旨電報ありたり（北京特電）

◎露軍リガ前線突破

リガ前線左翼各方面に於て露軍は敵塹壕の第一線を突破したりドニエステール河右岸に於て敵軍は潰走したり露軍はデラチンよりコロスメゾに至る鐵道を切斷したり（露都電報）

◎佛軍の戰利莫大

佛軍は九千名の負傷せざる捕虜を獲得しソンムの南方に於て佛軍の一箇旅團丈にても六十門の大砲を鹵獲したり（倫敦電報）

◎露軍捕獲

露國陸軍省の發表する所に據れば露軍は五日更に一萬の獨兵を捕虜とせるが其の二分の一はドニエステール戰線に於て得たるものなり（東京特電）

◎江華織物組合補助　京畿道にては曩に京城織物組合に對し年[illegible]物の主産地にして將來有望なる發達を爲すべき素地を具へ居れりと[illegible]

[illegible]あれば遲くも本月十六七日頃迄に通水し得る見込みなり

[illegible]數は玄米二萬六百三十三石精米二千三百六十石粳四萬二千二十一石なり

[illegible]

◎協約成立祝宴

大隈首相以下閣員は七日閣議終了後日露協約成立の祝宴を張れり（東京電報）

◎古蹟及遺物保存規則に就て　兒玉總務局長談

朝鮮總督府に於ては明治四十三年以來關野其の他の諸氏に依囑して古蹟の調査を行ひしが、其の事業は既に一段落を告げ朝鮮藝術の研究と題する報告書二編及び古蹟調査略報告を公にして其の結果を世に紹介し、又昨年來古蹟圖譜を續刊し之に依り從來多く世人の注意に上らざりし半島古來の遺蹟及び遺物に付き其の年代及び歷史、美術、工藝等の方面に於ける價値判明し、少からず趣味と光彩とを添へたることは今更めて言ふを須ひず。元來古蹟及び遺物は其の國土竝に人民の歷史を語るものにして又實に人文發達の跡を示すものなるが故に之が保存を爲すことは啻に國家として其の必要あるのみならず、又廣く世界人類の爲に其の必要ありと言はざるべからず。然るに此等貴重なる遺蹟及び遺物は歲と共に漸く湮滅し、仍て此の際速に調査を遂げ保存の方法を確立するの必要あるを認め、新に根本的計畫を立て、朝鮮全土に亘りて周密なる調査を遂げ、一面には其の學術的價値を明にすると同時に、一面には之が保存の途を講ずることゝせり。從來古蹟及び遺物の取締に關しては相當取締を勵にしたるにも拘らず、實際に於ては官憲の目を盜みて古墳を盜掘し、又貴重なる古蹟の破壞せられ、金石物の盜賣せらるゝ等殆ど枚擧に遑あらず。此の如き狀態にては縱令調査を爲し保存の途を講せんとするも到底其の目的を達することを得ざるを以て、今回古蹟調査委員會規程を制定し古蹟及び遺物の調査保存蒐集及び古文書の調査蒐集に關する事項を審査し、之が調査並に保存の統一を期し完全を期し、且之れと同時に古蹟及び遺物の保存に關する訓令並に古蹟及び遺物保存規則を發布し、國家が保存を爲すべき古蹟及び遺物は之を臺帳に登錄し、保存の必要あるものと否らざるものとの區別を明にし、之が保存の基礎を確立せんとす。

故に臺帳に登錄したる古蹟及び遺物は、國家が特に保存を爲すべき必要ありと認めたるものにして其の土地又は物件が國有たると私有たるとを問はず、濫に變更、移轉、修繕若くは破壞、賣却等の處分を爲さしめ、又其の保存に影響を及ぼすべき施設を爲さしむるときは官署は認可を受けしむることゝせり。是れ蓋し此等の古蹟遺物は國家に於て保存を爲す必要あると同時に人民も亦其の保存を爲すべき責任あるものなるを以て、官民相俟つて國家の至寶を保存せんとするに外ならず。古蹟及び遺物の範圍に付ては素より一定の標準あるに非ざるを以て特に之を例示し、其の限界を明にせり。即ち古蹟は之を大別すれば第一を先住民の遺蹟とす、即ち先住民が食用に供したる貝類の殼を投棄したる場所なりと認むべき貝塚、先住民が使用したりと認むべき石器、骨器、角器の類を包有する土地及び先住民の住居の跡と認むべき竪穴等の類なり。第二は古墳、第三は都城、宮殿、城塞、關門、交通路、驛站、烽燧、官府、祠宇、壇廟、寺刹、陶窯等の遺址、第四は戰跡其の他史上の事實に關係ある遺跡等なり。又遺物とは塔、碑、鐘、金石佛、幢竿、石燈等の金石物にして歷史、工藝其の他考古の資料となるべきものなり。如此朝鮮に於ける古蹟及び遺物の保護を圖り、古墳の盜掘國有金石物の取締を嚴にする所以のものは、一に半島に於ける古代の藝術及び文化の根源を永遠に保存し識者の研究の資に供せむとするに外ならざるなり

◎露國と外國銀行　營業自由たるべき乎

露國にては法律を以て外國會社銀行の開店に多大の拘束を加へ事實上其の營業を不可能ならしめ居れる爲め昨年朝鮮銀行にて十八銀行系統の在浦鹽松田銀行部の讓渡を受けし後も依然として松田の名義にて營業しつゝあるが最近本野大使より或筋へ達したる情報によれば露國藏相は戰亂以來金融逼迫に困じつゝある爲め其緩和の一策として外國會社銀行の新設を容認し得るやとし外資の流入を圓滑ならしめんとの意向ありとの意味あり其後姑らく此類の通報なかりしも露西亞財界の輿論は外國會社銀行の新設を許すべしと云ふに傾むき此方面の機運一進の模樣あり然も亦新に日露新協約の成立を見るに至らんとし其條項中傳へらるゝ如く日露兩國民は互ひに西伯利亞及び滿洲に於て自由に商業をなし得る旨の取極めありとし浦鹽を西伯利亞の一角と見做し商業を廣義に解釋して銀行業を含むものと定め兩國人と云ふ字義を自然人のみならず法人をも加へ得べしとすれば鮮銀系統の松田銀行部も支店若くば出張所名に變更し得るに至り鮮銀にては諸種の不利不便を除き得べしと云ふ

◎露國向脫脂綿　內地にて製造か

朝鮮製綿會社にては過般露國向脫脂綿三千萬圓の引受を爲し其の契約の爲め社員上京せるは既報の通りなるが同工場は其の規模廣大ならざる爲め斯の如き大口注文に應せむとせば從來の製綿を中止するか若くは臨時擴張を爲すの外なし、然るに昨今漸く事業の緒に就かむとするに際し鮮內の供給を絕つは永遠の不利たると言を俟たず、さればとて新規設備を爲すは將來の需給關係上之れを內地に於て爲すの有利なるに如かざるを以て本事業は或は內地に於て著手せらるゝに至る可く會社に於ても大體之に決せるものゝ如し

◎鮮米支那仕向　支那人向試賣

從來仁川港より支那に仕向ける精米は主として同地在留の同胞向きにて其の包裝は叺入（三斗五升）なりしが今般天津瀛井洋行支店より支那向に試賣の目的を以て包裝を麻袋（百六十斤）となし之を北京及び天津地方に移入し來れる上海米の包裝に傚せるものを仁川力武、天日及び京城精米所に注文し來り五月中のみに發送せしものにても六百五十袋三百九十石を算せりとの事なるが從來天津及び北京方面の輸移入精米は一箇年十萬袋內外にして上海附近より移入し來れるもの多數を占め其價格甚だ低廉なれど品質劣惡を極め居れるを以て今後支那人にして朝鮮米の眞味を解するに至らば相當販路の開拓を見る可く、今回の注文輸出が之に貢獻するところ鮮少ならざるならむと觀測せらる

◎經濟研究會

官民側にては靑木人江兩課長和田參事民間側にては勝田鮮銀總裁木村同理事村田東拓理事高野三井支店長等發起にて計畫中なりし經濟研究會は來る十日（月曜）午後六時より京城銀行集會所に於て贊成會員參集の上第一回の會を催ほし晩餐前後勝田氏其他の經濟談ある筈なりと

◎下水問題　松永京畿道長官談

京城の如き大都會が今日下水溝の急務を叫ぶは既に時機の甚だ遲れたる樣なきにあらねど今回愈く其實行に著手されんとするは誠に喜ぶべし、下水工事と云へば却々大事業の樣なれど要するに汚水溝の開設なり、京城は既に年額十四五萬圓の汚物掃除費を支出し居れる位なれば年額十萬乃至十數萬圓位の下水工事費を支出すればとて妥當を缺ぐものにあらず左ればとて之を府民一般の負擔に一任するは穩當なりとせず加ふるに目下府の財政狀態は調節時代にあれば若し假に增税を行はゞとて容易に所要の工費を得らる可くもあらざれば

▲大部分を補助金により て辨じ府は政務に差支なき範圍にて經費の節約を圖るより他に途なかるべし一面には府の起債によりて工費の一部に充用せんとするの議あれども畢竟する所府債は府民の負擔も增大する原因ともなる可きを以て結局起債も增税も共に行はず工事を遂行する方針たり、工事の設計に就ては貴紙に報道されし如く旭川、清溪川を淺渫し下水を城門の內外二區に分ちて汚水を排除するものなり、淸溪川の下流は數年來汚物の大停滯を來し居れば是等を除去し河底を淺渫するのみにても既に廿五六萬圓を要すべし、京城が年々衞生的施設に腐心する割合に傳染病の如き惡疫の根絕せざるは全く此汚水の地下に浸透し居れるためなれば一度此停滯せる汚水の排出を見ば市街の衞生は完全に保ち得らるべし、下水工事著手と共に經理を要するは

▲藥水附近の洗濯なり鮮人等は夏季は勿論四時絕わず山間の藥水附近に集團し洗濯を行ひ中には恐る可き病菌の附著したる汚染物を洗濯せる汚水を下水を通じて市內に流下せしむるため其危險の波及する所實に慄然たるものあり而かも洗濯物は附近の松樹の上に掛け干され爲めに植林の成長を阻害すること甚しければ下水溝竣工と共に之を禁止し新たに淸溪川の兩岸なる要所々々に水道栓を引用して共同洗濯場に充つる豫定なり、鮮人の洗濯物は內地人と異なり白色のもの多く恰かも巴里のセース河畔に於ける家形短艇の洗濯場の如きものとなり一種の情趣を添へ決して都市の美觀を損ずるが如きことなかるべし下水溝の工事開始さるれば都市の衞生を完全ならしむると共に

▲內鮮勞働者救濟のためにも亦大なる利益あり、今日希望を云へば京城の如き勞働者の密集せる都會にありては常に三四十萬圓位の工事を行ひ之に依つて土地の金融を緩和するのみならず下層勞働者に職業を與ふる途を講ずるの必要あるものなり幸ひ下水工事は五六年の繼續事業とし其間百五六十萬圓の工費を投下さるゝことなれば道般の要望は大に滿さる可く更に進んで將來理想的なる暗渠式大下水溝の開設を見るも強ち空想にあらざる可きを信ず

◎會頭副會頭當選

七日午後大邱商業會議所役員選擧を行ひたるが開票の結果會頭に吉村氏副會頭に酒井李の兩氏當選せり（大邱特電）

◎警務部の鮮語講習

京畿道警務部にては每朝出勤時間前三十分より約一時間巡査及び職員に對し朝鮮語の講習を爲しつゝあるが近時各自大に其の進步を見るに至れりと

◎村田東拓理事快癒

病氣引籠中なりし村田東拓理事は此程病氣全快し七日より出社したり

人事消息

▲白井水城氏（開城辯護士）七日入京同日夜退京

▲有川宜次郎氏（朝鮮鐵道經理部長）鐵道局と本務打合せの爲め七日朝入京

■南言北語■

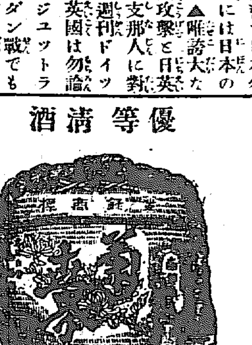
獨逸が內外に於て新聞政策のウマい事は有名なものだが近頃は頗ぶる樂屋がバレて來つ誰れも其の手に乘るものはなくなつた▲が尙ほ盛にやつて居る極東などでは全く無戰鬪力となつたので銃器の代りに筆を武器として拔目なく此の手をやつて居る處はお可笑さを通り越して滑稽だ▲先づ上海では英字新聞ゼーウオーを發刊し無料で日本各地にも配布して居るが之には日本の事は遂に一言も惡評せず▲離諜大なる自讃自贊と惡辣な英國攻擊と日英離間策を主として居る▲支那人に對する獨逸機關紙の隨一は週刊ドイツツアイツングで、之には英國は勿論日本をも艦襲に罵倒しジユツトランド沖の海戰でもヴエルダン戰でも捏造だらけ▲而も獨逸が左も大勝利らしく吹聽して盛んに排日英熱を煽つて居る▲暹羅の盤谷では週刊ランシヤンを以て暹羅及び佛領印度の人心を煽動し▲バタビアでも獨逸のエイゼントは盛に活動して居る▲馬尼剌には純獨逸新聞はないがジヤーマン、アメリカンと稱する獨系米人の新聞があつて米獨國交破裂の際は比島中を掻き廻さんとして居るなどトンと手に終えない代物許りだが▲本國では社會黨の一機關紙ゾチアーレ、デモクラチツシエ紙に對して何故か特に戰線兵士に自由配付を許し▲紙代は總て獨逸政府が支拂ひつゝあると云ふが是はチト眉唾ものらしい▲獨逸を見習ふたのでもあるまいが勃牙利の諸新聞紙は獨軍のヴエルダン占領を報じ獨軍は既に巴里に近づきつゝありと記し▲墺軍はベウサラビヤに侵入してキエフに迫り土耳其軍は既に蘇士運河を略取してカイローに入り▲獨帝は平和までに倫敦を陷るゝことを言明した旨を旺んに特筆大書して居る▲嘘言で世の中を固めようと云ふ手合だから斯の樣な事を人が信ずると思つて居るのが大間違▲イザとなると政府が獨で手古舞をやるのだらうが可愛想に……

◎遊漁御案內　仁川仲町（六門通）仁川用達社遊漁部　電話三三五番

農業世界　七月號　久保田內務次官の「農村の諸問題」を卷頭とし以下各專門家の執筆せる有益にして實際的なる參考資料を滿載　定價廿二錢郵稅二錢（六冊金一圓四十七錢　十二冊金二圓九十八錢　税共）　東京本町　博文館

日韓書房輯編部編　朝鮮總督府普通文官見習及雇員試驗問題解答　四六版三百餘頁　正價六十錢　送料八錢
朝鮮總督府に於ける普通文官判任見習及雇員の受驗者年々增加するに伴ひ受驗準備に適切なる圖書の出版は極めて必要にして受驗者の渴望せらるゝところなり本房は此の緊要なる圖書未だ出版されざるを憾とし編輯同人苦心の結果標題の圖書を作成せり本書は總督府文官見習及雇員試驗問題五箇年餘に渉り內地人及朝鮮人に施行せられたる現今に臻る迄の問題を科目每に全部之れを蒐集し且つ之に懇切なる解答を施したるものにして蓋し受驗者の羅針盤たるを得ん敢て大方の必要を勸む
發兌元　京城本町二丁目　振替京城百十五番　日韓書房

海員募集　最新の航海に關する學術を教授し海員を養成す卒業者は各汽船會社へ直に就職せしむ四ケ月卒業會費二圓四拾錢規則進呈◎東京芝愛宕町　帝國通信航海學校

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　醸造元　富安本店
發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番

第貳拾貳回決算報告（自大正四年六月壹日至大正五年五月參拾壹日）

一資本金　五百萬圓

一諸準備並繰越金　貳百六拾貳萬八千九百八拾五圓四拾錢

貸借對照表

資產之部

科目	金額（圓）
未拂込株金	三、七五〇、〇〇〇・〇〇〇
現金	一、一九八・七一〇
郵便振替貯金	一一、七三一・六三〇
銀行貯金	一、五四四、九九六・二四〇
貸付金	三九〇、六六〇・〇〇〇
有價證券	一、七四五、〇〇七・五〇〇
不動產	二八七、五〇三・四八〇
什器	八、一〇七・〇〇〇
建物內拂金	六、〇〇〇・〇〇〇
未收火災保險料	二八九・二七〇
未收海上保險料	七六、〇三八・一九〇
未收運送保險料	七、六四一・〇八〇
未收火災再保險金	一二、九二四・九一〇
未收海上再保險金	一三、八一三・四一〇
未收海上補償金	一五、八七六・九二〇
支店貸	一、八七一・九八〇
代理店貸	七三、九七九・〇五〇
供託金	五、七二二・六七〇
假拂金	三七五・〇〇〇
合計	七、九五三、七三七・〇四〇

負債之部

科目	金額（圓）
株金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
法定準備金	四七〇、〇〇〇・〇〇〇
有價證券減價準備金	七七、五一七・八四〇
火災保險責任準備金	一、六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
海上保險責任準備金	一五〇、〇〇〇・〇〇〇
運送保險責任準備金	七〇、〇〇〇・〇〇〇
信用保險責任準備金	四〇、〇〇〇・〇〇〇
火災保險支拂備金	八、八〇〇・〇〇〇
海上保險支拂備金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
運送保險支拂備金	二〇〇・〇〇〇
信用保險支拂備金	六、〇〇〇・〇〇〇
未拂火災再保險料	二七、四八二・九六〇
未拂海上再保險料	一三、三二二・六三〇
使用人恩給基金	五、六六六・〇八〇
未拂配當金	五、三一八・五四〇
身元保證金	二、一〇〇・〇〇〇
假受金	八、三六一・四三〇
利益金	四一八、九六七・五六〇
合計	七、九五三、七三七・〇四〇

利益金合計金四拾壹萬八千九百六拾七圓五拾六錢也此分配左ノ如シ

一金參萬圓也　法定準備金

一金拾六萬貳千五百圓也（年壹割參分）　株主配當金

一金壹萬五千圓也　役員賞與金

一金貳萬圓也　使用人恩給基金

一金拾九萬壹千四百六拾七圓五拾六錢也　次年度へ繰越金

右之通候也

大正五年六月

橫濱火災海上運送信用保險株式會社

社長　小野光景
專務取締役　井阪孝
取締役　大濱忠三郎
取締役　若尾幾造
取締役　原富太郎
取締役　茂木惣兵衛
監査役　石川德右衛門
監査役　渡邊文七

監査役任期滿了ノ處何レモ再選就任セリ

南鮮水害地視察 湖南線方面

◇復舊策如何 ＝第四信＝

別府特派員

五日午前 江景行き車中

▲人事を盡して 天命を待つばかり

近年絕えてなき大水害を受けた全羅北道は其の罹災地域の廣く被害の甚大なるのみならず數千町歩の水田に對し如何なる復活策を講んとする乎、これ實に刻下焦眉の急を要する大問題である 道廳の大久保第一部長は語る、被害水田に對する大方針は苗代及び直播の方法により幾分の收穫を得やうとするのだ、無論これは非常の冒險で大賭博で、秋冷速やかに來り而して早霜を見んか、無論收穫皆無となるを免れぬ、と云つて危くても外に何等執るべき道がない、株分及び苗の買入れは及ぶ丈けやらしてゐるけれども其の面積は僅少だ、蕎麥の耕作は確かだが何千町歩に對する種子は到底得られぬ、結局冒險的の遲蒔苗代及び直播による外はない、道廳では既に臨時恩賜金で約千石の籾を買入れ之れを各地に讓與した、更に地主に向つては其の種籾買込小作人への分配を極力奬勵し、一日も早く此の施設の終了を急いでゐる、斯くして天氣が旨く經過すれば米質は惡くても五分作は穫れる、全滅せぬ限り若干かとれやう茲に一縷の望みを繫いでゐる、絕對に駄目だと云ふ說もあるが、それは酷論で、又駄目だからと云つて被害水田を投つて置く譯には行かぬ、鮮農を休ませて置く譯にも行かぬ、乃ち人事を盡して天命を待つのである

▲今後は怎する

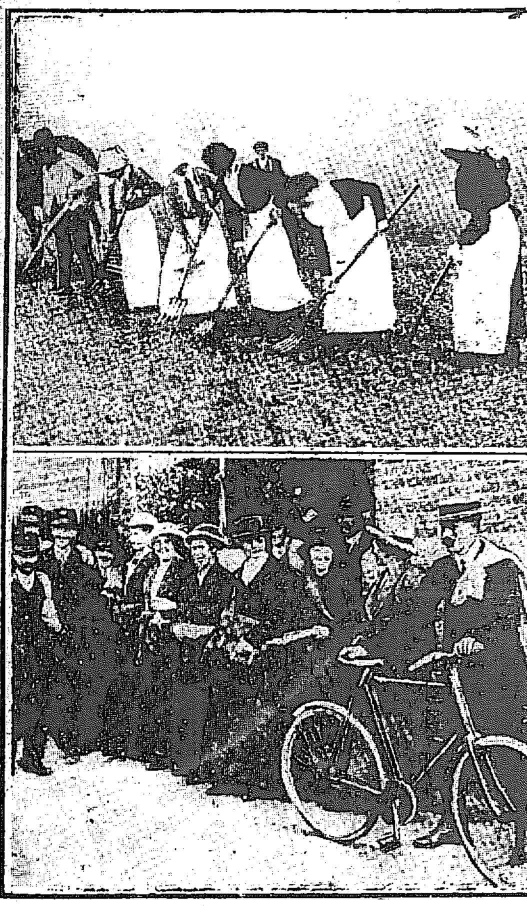
更に大久保氏は曰ふ、罹災民に對する救濟は應急と今後の二つに分つ、乃ち應急は死者に對する弔慰金、家屋を流した貧民への補助金、又今後の救濟は何しろ麥は穫れず米は不作と來てゐるから秋より冬に移る期間に於ける農民の食ひ繫ぎは非常の問題で或は慘憺たる狀況を現はさんも知り難い よつて道廳では諸工事をドン／＼やらし、彼等を使役する、そして食を與へる、乃ち古阜水利の如き二年繼續事業だが今年中に工事を終了さする位にしやうし、道路の復舊、堤防の築設等は總べて大に年內に進めさせやう、水害に對する道民の覺悟は古い言葉だが勤儉貯蓄の四字に盡きます云々、松井第二部長は曰く、全北の農民は割合に水害に馴れてゐるから存外驚かぬやうにもある、幸ひ今は徵稅期でないから問題も起らぬけれど稻作が大被害を受けて今冬に向つたら極月の徵稅期の困難こ不成績が思れるね、たら怎うか今後の天候が順調であつて欲しい……

▲復舊策の著手

五日の午後全州から裡里に出で一千數百町歩の土地を有する大橋農場を訪ふ、田中老主任は出水により裡里が包圍され當時の慘狀を具さに話り、裡里消防組員が輕舟に棹さして滿々たる濁流に押し進み多くの鮮人を救つた事を告ぐる、一時裡里は近郡の農民六百以上の避難民を收容し、郡守臨監の下に大々的炊出しを遣つたと云ふ事である、裡里の各農場も道廳の勸誘を待つまでもなく何れも率先して苗代を作り補植の準備を進めてゐる現に大橋農場丈けで七十六俵の籾を小作人に配付したと云ふ、土用中に植附が出來れば早霜がない限り相當に穫れませうとは同地農者の一致した所見らしい、深夜群山に下り一泊する

▲江景への途上

五日の朝群山發一番列車で江景平野の視察に向ふ、群山裡里間の全州平野西部は甚しい水害を蒙り、左右に開くる平野の稻苗は痛々しい許りに亂れ倒れてゐる、殊に地境附近は鐵道も壞されし丈け尙ほ未だ濁水の深く湛へられし水田が多かつた、五山里の藤本農場附近も大分酷い、裡里より黃登に北上する間臨益水利の水田の慘狀を再び目擊した、不十分ながら全北水害視察記を終り、忠南平野一部の野見を次信に物しやう、最後に土木局の調査既に成れる萬頃江河身改修の急と臨益水利組合排水施設の緊喫な事を叫んでおく



□女子の勞働 歐洲交戰各國では働き盛りの男子が盡く出征して國內には勞働に從事すべき男子が少なくなり其結果女子が男子に代て勞働に從事して居ると云ふ事は屢々報道されました通りであります上圖は耕耘に從事して居る英國婦人下圖は郵便配達の婦人であります

◇紙と墨の話

平福百穗氏談

◇苟くも畫家を以て任ずるものは古今を問はず自分の好む所の墨と、紙の選擇に意を用ふるのが常である、今日一般には絹を撰び、紙を輕んずる傾向がある、しかしそれは畫家その人の好みにも依るが、私は絹にかいたのでは本當の墨色、繪そのものゝ面白味は出ない樣に思ふ ◇私自身では絹よりも紙、紙よりも紙が好きである、紙の中でも唐紙とか畫箋とかいろ／＼種類が廣く一般に用ゐられてゐるが、私は鳥の子紙を好んで用ゐてゐる、奉書も小さいものゝ外近頃大畫箋位の大きさのものが出來てゐる ◇古の雪舟や元信などの畫聖の作にも特に紙の繪に立派なものが多い。鎌倉足利頃の繪卷物も鳥の子で、近世の大雅蕪村等の大家のものにも紙に優秀の作がある。併し近年畫箋や唐紙の紙質が劣つて來て、好いのが少ない ◇故雅邦翁などは自分好みの畫室紙といつて一寸鳥の子に類した紙を漉かして使つてゐる、で朝鮮にも却々いゝ紙がある事は聞いてゐたが今度いろ／＼試みた結果紙質の永く保存に堪へる事や漉製の工合が極めて私しの嗜好に適してゐるのを見出した ◇唯た少しく慾を言へば、最少し繪氣を少なくして形の大きいものを畫用として精製したならば一般美術家の歡迎を受けるだらうと思ふ、近來東京の畫壇に於いては紙に畫いたものと同じく尊重されて來て王版箋や奉書や鳥の子などが非常に用ゐられてゐる ◇繪畫用の墨も古墨の好いものが容易に手に入らぬ、で私しなどは亡父の使ひ殘りを虎の子の樣に大事にして使つてゐる、先達て宮內省製作所で繪畫用として試驗的に作られたものを所長から贈られたが、頗る潤澤で匂ひがあつて七八年乃至十年位も溜らして置いたら、現今一般に使用されてゐる支那や奈良の上物と稱するものよりも數等優品である事を保證する、敢て提燈持ちをするのではない事は斷つて置く

◎耐熱行軍出發 龍山八百南下の途に就く

豫て計畫中の大規模を以て擧行さるべき耐熱行軍部隊步兵第一聯隊及び山砲第一中隊よりなる混成大隊總人員八百十六名は藤田聯隊長指揮の下に去る六日午前五時愈々屯營を出發し大橋堤渡船場を經て南下の途に就きたるが關係諸員及び有志の一部は同渡船場迄見送をなせり

◎墳墓確認事件 （全北）

黃海道海州郡代東面葛峴里李敏承外三百四十四人の李性親族一同は京畿道漣川郡々內面古文里李載軾を相手取り李載軾の所有なる坡州郡泉峴面加佐里書院洞の紫雲山三十五町七畝歩餘の山坂は前記三百四十五名の祖先たる李珥の墳墓所在地にして李載軾個人の占有地にあらず宗孫及び支孫たる三百餘名の共有地所たることを確認すべしとの請求事件は京城地方法院に於て原告側の請求要件一部敗訴となりたるより更に三百餘名は京城覆審法院に控訴したる結果此程右の墳墓地は共有たることを確認すべし其他の請求は之れを却下すとの判決ありたり

◎翠雲畫伯の入京

金剛山探勝寫生の目的にて過日入京天眞樓に滯在中なる南宗畫禪一致派立原翠雲畫伯は近日中金剛山に向つて出發する筈なるが滯京中需に應じ尺五絹本山水十五圓尺三絹本山水十圓紙本聯落山水五圓同半折山水三圓位の割にて揮毫を爲せすと翠伯は水府藩士原杏所の孫に當り幼時田崎草雲に就きて畫道を學び中年法曹界に投じ數年にして再び畫道に還り去る大正三年には水府儼々齋の名にて入選せり又近來石川鴻齋翁に就きて詩學を修め造詣淺からずと

◎乘馬倶樂部講話

京城乘馬倶樂部にては九日朝講話例會を開き總督府技師野口獸醫學士の馬種に就て講演ある可く希望者は會員外と雖も出席隨意なり

◎遞信野球團迎擊戰

鳥致院基督青年會野球團に對する遞信野球團の迎擊戰は八日午後三時より龍山鐵道グラウンドに於て擧行さるゝ筈なるが審判官として河合（鮮銀）佐（遞信）の兩氏出場す

◎活動寫眞映畫差止

大邱府錦町活動寫眞の映畫採偵王は今回其筋より差止められたり

◎旭翠會月並溫習會

旭翠會にては九日午後六時半より大和町淨土宗布敎院に於て月並溫習會を催ふす由其番なる曲目は左の如し 湖水蓮（旭彩）夜の鶴（旭鶴）乃木大將（旭句）芳流閣（旭翠）西の旅（旭水師）

▲棧敷豫約

東京大相撲の前景氣は益々盛んになつてゆく正面棧敷は殆んど引張り合ひの始末で我勝にと申込んで來る、總督府では場所を京畿道、三井物產、皮革會社、サクラビール、青木商工課長大塚內務部第二課長李王職等などを始め、市中の主な所は二坪乃至五六桝を五日間打通して買切つてゐる

▲團體見物

今日まで判つてる團體見物は京城中學の五百名を筆頭に鐵道の鎭西出、西の海の鹿兒島縣人會、綾川會、サクラビール、京城料理屋組合券番關係者藝妓等で尙ほ續々計畫されてゐる

▲西の海に銀盃

鹿兒島縣人會では同縣出身の横綱西の海のために物見を爲すと共に島津家の紋所の中に横綱を入れたる記念三ツ組銀盃を贈り尙ほ井門に同人の招待會を開く筈だ

▲逆鉾の來京

幕內力士逆鉾は大邱興行中に左足腓腸部に腫物が出來同地で切開手術をした所疵口が大きくなつたので一行と別れ六日來京淸光舘に投宿し櫻井町池上醫院の治療を受けてゐるが經過は大分好いので京城興行には出場が出來る見込である

▲相撲場竣功

明治町の相撲場は七日までに全く出來上り同日木戸前の高櫓に御免札を掲げた、市中の辻々に貼られた辻ビラと共に相撲氣分は益々增して來た

紙上論戰

◇前見上の大問題に就く◇讀者諸分の反響

本紙朝刊四面讀者の領分に某紳士婦人が通行中其の小供の倒れたのを見て起しやらざりしより傍觀者が其婦人の小供敎育は獨立心を養成する上に於て非常に好いと云ふ樣な投書があつた、すると之が端なくも大問題となつて甲論乙駁實にはてしもなく少な讀者領分には這入り切れない事になつたので特に紙上の一部を割て論戰場に提供する事とした之れ小兒敎育上に於ける大問題であるからである

◇　◇　◇　◇　◇

先般より某紳士の夫人我が子の倒れた事に就て彼是と噂があるが子を持つ親として考へ見よ果して我が子が倒れたを見て其儘にする人間か又それを傍觀する奴も下等動物である其夫人は世間の義理人情を辨へて居らぬ者と思ふ必ず隣り近傍より爪彈きせられ居る女である其夫人の身許は必ず醫者か娼妓かの類である子の情の薄い女である又某紳士も閣下の長き人であるそれも紳士ではなからうアイスの小成功者である夫婦互に冷たき前身である冷たき夫婦の者又之れを傍觀するわからずやの者共は能く聞け鳥畜鳥類でさへ情は能く知て居る鴫や雁即ち水禽の類が獵師の彈に當り斃れた時は一群の鳥共互に來たりて頭上に啼き悲しみ又斃れる者は其下に行きてこれを伴へて居るに非ずや自分の子が倒れて居りながらそれを其儘にする奴が人間か其紳士とやら夫人にも將來ないましめ又つまらぬ馬鹿囃はよし給へ（京城俠客）

◇　◇　◇　◇　◇

狂人等に一言す近頃の小供一件は靜く熟して來た然し中立の我輩から見れば斯る論は子弟養育上國家の大事件とも言ふ可きである然るに論たるや根本即ち當時の小供の性質、場所、年齡及び其時の狀態が必要なり狂人等の言は實に賢婦人の誠意、賢志潤生君の正質を皆無視して我儘論を述べて居るのだ宜しく狂人共は顧みて時計で洗つて而して二十日の朝刊を熟讀せよ賢婦人、賢志潤生君大いに安心し給へ（君を知りたい生）

◇　◇　◇　◇　◇

子供さんのころんだ事で色々な議が出ますが私が七人も子を持つた經驗として一寸申上げます怪我をしたやうな時は急いで起してやりますが他は起しません何故ならば一寸ころんでも起すくせを付けますといつ迄も起して貰へころんだまゝ起ずに誰か來てくれさうなものと左右を見廻して泣きます痛くなくてもさうです、ですから起さずに起きて來ました時に怪我は無いかといたはつてやります外は知りませんが私はこうして育てました（七人の子の母）

讀者文藝 （一等には五十錢の郵便切手を呈す）

○鰻上り猿の虫をば嚙み消し（一等） 龍岩浦 奇好生

▲川柳「猿」

▲疝猫が鹿爭獸を踏む電話口 群山 吐虹
▲美しい腰を助ける武者修業 龍山 山家吾公
▲初見合腰が起てフイになり 京城 糯水
▲ヒステリー踊り遲きが腰になり 成歡 淸風岳風
▲居候腰に障ると犬を打ち 金泉 木下凡太郎
▲昇給に溺れて腰を腰に障へ 大邱 三木啟三
▲自動車へ女國と相乘り腰な奴 山口縣 野村前男
▲若夫婦猿の種を撒き散らし 龍山 民枝
▲偽醫で亭主時々齒かされ 京城 大島采誠

物はつけ「滑稽な物は」 〆切七日 發表九日
「一口噺」題隨意 同八日 同十日
狹め繪 同九日 同十一日
謎題「梅雨晴れさかけて」 同十日 同十二日
狂歌「ラムネ」 同十一日 同十三日
俗謡題「風鈴」 同十二日 同十四日
次回川柳「蛇」 同十三日 同十五日

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲此規程に適はぬものは沒書

大相撲と讀者と本社 京城興行中の興趣ある計畫

東京大相撲西の海、大錦一行の京城興行は大分近づいて來ました。本社は一行の景氣を添ふるため又愛讀者諸君の爲に晴天五日間の京城興行中に於て種々興味と利便を兼ねた問題を提供します先本社

▼紋章彫刻一升入大銀盃を横綱大關を除いた五日間の優勝力士に贈り京城興行中の發奮努力を期すると同時に此れに附隨する懸賞問題

▼銀盃を取る力士は誰 即ち幕內優勝力士の豫想懸賞を一般好角家から募集し的中者には銀時計反物煙草その他の賞品を差上げます

▼本紙購讀者の大割引 京城興行中の木戸錢は三十錢の所を本紙刷込みの割引券持參の方に限り二十錢で入場が出來ます

▼幕內番外お好み相撲 京城興行中特に讀者諸君のために幕內人氣力士のお好み相撲の取組を毎日出します外に飛付五人拔などもやる筈です

一ポテンショメーター一個 右購買ス詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ 大正五年七月八日 朝鮮總督府遞信局

京城バザー 勸工場設置 場所本町二丁目廿八番地 元大上商店跡釘本商店筋向 七月廿日開設 賣店希望者は左記へ御申込被下度候 但同一賣店は不許先き申込者を採る 京城黃金町三丁目二百八 大上友太郎方 勸工場臨時事務所 電話二三一三

無代進呈 蔬菜種子營業案內 大阪天滿橋北詰西入 農產種子卸商 西尾種子問屋 長距離電話東三四五五番

カブトビール 醇良無比 特約店 京城大門通 吉野兄弟商會京城支店

宇治茶直接販賣 暑中 中元 御進物用 夏季の御贈答品には … 玉露製 煎茶製 … 製茶問屋 井上六平

牛乳 ヨーグルト 東亞牧場

◎何程少量の氷にても直ぐ配達致す店は— 朝鮮製氷社京城販賣部 住辰氷室 京城本町京城銀行前 電話二七七九番 冷藏用御使用氷は特に御相談可申候 冷藏庫及夏季裝飾の花氷は廉價を以て御注文に應じ可く候

秋種 優等一番秋種到着 京城勸農園 種子苗木 農具肥料 京城本町三丁目 電話七〇四番 振替口座京城五六番 營業目錄無代進呈

於國產博覽會名譽金牌受領 高麗人蔘葡萄酒 朝鮮土產 製造元祖 京城南大門 大橋屋商店 電話七六二番 特約店 京城本町 北島藥店 津村人蔘店 京城本町明治町角 津村支店 暑中御見舞品並に中元進物好適品 ◎賣捌店全鮮にあり

女鳩

渡邊默禪

「三八」衾をぬけて

少時黙然としたかと思ふうちに源作は大きな咳をして

『何でもかんでも其の泥棒をふんづかめてやるべいと思つたもんだでな、家根から下りるとわら〳〵はしつて(急いで駈けると)村の端所まで追つ駈けたさいふもんだ。ホンでほうすると野郎運のつきた、雪で滑つてストンと轉んだ拍子に、脳天でも打つたもんと見ゑて、よつぴて(一晩)起きらんねかつたまゝそこを俺が揃つけて馬乘になつて、此の泥棒野郎といきなり拳固でくらすつけたつだな(撲つたさいふ意味)ほうすると下で勘忍してくれ〳〵といふのだ。何だか聞いたやうな聲だから、誰だべと思つて、仰向になつてた野郎の顏を雪の明りで覗いて見たら、よつく分んねがつたけんど、俺のやうな氣がしたまな。奴は源ぢやないかさくらはせると、野郎打魂消て、あツお父さんか、濟まねゑ、助けてくれと吐かすのだ。濟むも濟まねゑもない、この瓢六玉、親にさん〳〵不孝を働いたばかりでもハア澤山だべに、何が不足で泥棒にまで成下りやあがつた。情ねゑ奴だなア、汝は……村の者から近郷近在、汝を厄病神のやうに憎んでゐて、今でも何かさいふと源作の件が件がと引合に出されるたんび、俺の胸に釘を打たれるやうだぞ。ほたな莫迦者を子息に持つたのは俺の因果だと諦めては居るけんど、夜逃をしてから四五年こつち端書一本の便がないから、あゝ何處の空になせよなことをしてけつかるべいね、生きてゐるのか、ほれとも死んだのかなアと思ひ出しては泣いてゐる此の親の氣も知りやあがらねゑで、村の近在までもこたな恥晒しにうせあがる。汝のやうな奴は打殺しても腹の蟲が承知しねゑぞ、と喉ツぼとけを揃へつけてぎゆう〳〵締めてやつたちうもんだ』

いつも乾び切つてゐる源作の聲調は、涙を帶びてゐると見ゑて、しつとりと濕つたうちに切ない心の旋律をおのゝかして聞ゑた。それに和つてをり〳〵お花の洟を啜り上げる音がきは立つ。大野は確かに一昨夜の出來事が二人の間に話られてゐるのだと推した。さうして源作の重たい唇の中に鎖込められてゐた一つの秘密が、端なくもこの深夜の小莚にさゝやかれて、板戸を洩るゝ山風の如くに冷たく我が耳に觸れたことを、いと興あることに思ひつゝ、そつと衾を脱出して戸襖の隙に摺寄つた。この刹那全身の感覺は悉く鼓膜の一點に集中したかのやう、さながら錐の如くに聰神經の末梢を逆立てた。

『それから如何したの』

『ほうすると野郎、悲しげな聲を出して、お父さん、勘忍してくれ、今夜彼の家に入つたのア泥棒をやるつもりではねゑ。少し譯があつて彼の中の一人を打殺すべゑと思つて……』

『ね、殺すんですつて？』お花は愕然として叫んだ。大野も覺えずぞつとした。

『先ア聞けイ、いゝか。殺すべゑとして入つたんだが、お父さんが泊つて居るては夢にも知らなかつた。やりそこなつた上はもう二度と手は出さねゑからどうか此儘見逃してけらつしやいい(呉れ)俺の言ふ事を背いてけらんないといふなら、仕方がねゑからお父さんを殺して俺も死ぬ、とこだなことを吐すだ』

『まア何といふ亂暴なことを……』

『莫迦つかせ、汝のやうな青二才に命を奪られるやうな親爺ではねゑぞ、さア手を廻せ、ふン縛るからと言つてゐると、だしぬけにズドンだ』

『ね、如何したの』

『殿様の所から盗んで來やがつた小銃を打放したのだ』

『あら、危ない！』

『不意打だで俺も魂消て手を放したちうもんだ。そこをいきなり突仆して刎ね起きてたア、闇雲にわら〳〵逃げて了つたが、彼の野郎。はて殘念なことをしたよ』

皮膚科

皮膚病 徽毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍

入院随意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元二三) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

新刊紹介

▲工業生活(一の九) 我國工業界の缺陷(阪田博士)磁器の將來(北村喜工教授)電氣の新智識(今島博行)其の他の記事皆工業に關する常識の發達に資すべし(十錢東京市小石川區表町一〇九大日本工業學會)

▲勞働及産業(七月號) 本號(鐵道版)には勞働組合の價値及び効用(鈴木文治)勞働者の家計調査に就て(高野博士)勞働問題と其の學理(内田辰次代)米國社會問題(吉松貞彌)生活用計算(大石四二)等社會問題及び興味ある記事を收録せり(十二錢東京芝區三田四國町友愛會本部)

▲婦人週報(二の二七) 婦人の理學士二名、兒童の神經質、夏羨き法、漬物數種等(四錢五厘東京市牛込區市ヶ谷田町二の一七其社)

▲國技(三の六) 恰も東京相撲夾醉中に當り本號亦特に興味多き記事を收む、曰く八百長呼ばりの際、東西入替の眞因を論ず、人氣力士四代目物語、相撲通人遊成學、原田君訴辭出張紹介等(二十錢東京市本所區横網町一の一七相撲通信社)

▲兒童研究(一九の一二) 兒童の身體解剖、生理、心理、發語、敎育、法律等に關し毎號々易に研究を發表せる家庭雜誌(十六錢東京市本郷區西片町一〇其發行所)

▲英語の日本(七月一日號) 滑稽談譯集さ共反譯、ABC順單語研究、單語の發音、其他例好文字(十二錢東京市神田區表神保町三建文館)

▲セ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション(七月一日號) 英文雜知欄のシユサイド、シンクル、オツソ、ダブル特に學生の一讀を慫む(十二錢東京市麹町區内幸町其社)

▲現代の圖案工藝(七月號) 各種圖案、意匠の暗示及び其の應用說明、圖案工藝に關する論說、學理、談叢、趣味、通信、時報、及び系統的諸義雜記事に就て研究せる雜誌にして一般商工業實務家には無二の好參考たるべし(二十五錢東京市赤坂區青山南町二の四〇其社)

▲東亞の光(七月號) 曲學阿世禁止の厄に遇ひたる本誌は益々内容の充實に努めたりクヨール氏の觀察に就て(井上博士)現戰亂の真因に就て(長瀨ドクトル)中世文學と佛國の國民性、大衆文學士に詩者に見えたる天(小林文學士)等の外極めて興味ある好讀物を集録す(廿四錢東京市本郷區駒込千駄木町五〇東亞協會)

▲日本警察新聞(一七二) 大阪警察の新方針、犯罪搜査に就て、大審院刑事判例集(五錢東京市芝區愛宕町二の一四其社)

▲國民タイムス(七月號) 兇刃の裏面、結婚ローマンス、入札の内容、淫婦お民等(十錢東京市小石川區森川町一其社)

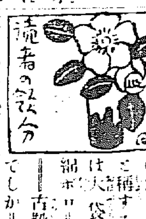
▲大阪銀行通信録(二二六) 五月中に於る一般金融、經濟状態を調査せるものにして最も必要なる參考資料にして銀行員等に於ける記事も亦時事に關する好文字たり(二十五錢大阪市大阪銀行集會所)

▲公私經濟(七月號) 數ある經濟雜誌中有數のものたり、獨逸の戰時經濟政策、日本の造船所及び造船業、戰時英佛國の物價調節策、關税と經濟の關係等見るべし(十五錢東京市麹町區内幸町其社)

▲世界公論(七月號) 天職を無視せる中央大新聞(二號罰)北米合衆國の新帝國主義政策(シドニー、グリツク博士)支那革命と我對支政策の結論、寺尾博士時に赤らんとする新時代の要求(岸本能武太)等時事問題に關する諸說及び女は如何なる男すた好むか(橋秀子)良家の子女に何故に堕落し易きか(谷本博士)迄も勃能ある聽聞者(佐野博士)等の諸名家の說を載せたり(十錢東京市小石川區大塚窪町其社)

▲實業之世界(七月號) 禁酒に關する新らしき研究、青柳有美、月給取りから轉身成功法、増田義一の中小に就て一言す、一見たり聞いたり等の附錄す(十三錢東京市京橋區南金六町其社)

讀者の領分



朝鮮人の古物買ひと稱する者の中にはは大袋を背負ひ紙屑ボロ、古靴、洋服なしでしか家々の裏口を覗き廻り萬一不在の家であれば何でも袋の中に押し込んで持つて行く僕の附近でも此頃三四軒泥棒はれた熟くても開け放しは出來ない其筋のお取締を望む(長屋一公生)

▲近來の燕落さと濕氣深い天候と果物類と不良飲料水とが手傳つて京城市中には膓窒扶斯さ赤痢患者とが大分出來たさいふことである一寸注意すべきである(讀者總代)

▲此頃葬式屋同感の士に訴ふ三四日前某町の雜貨屋の主人不幸の節例の通り葬式屋が六七軒も注文取りに押しかけて門前市をなす有様に遺族の迷惑は實に一方ならず其際同町の某社は死者の友人と云ふ人にコツミツションを握せて運動した掘る者も葬式屋も實に人外である然るに此葬式はその運動功を奏せず遺族の求めによつて他の葬儀社に注文した故に某社の提供のコンミツションを返せ戻せと門前にて押問答をして居つた(實見あきれた生)

▲西四軒町の某官吏の宅に二三日前の朝鋭利な刺身庖丁を以て這入つた賊がある庖丁は炊事場に乘てゝ同家の小刀一挺と取替へて逃げて行つた相だ是では泥棒も損であらうが戸締を堅くせないと物騷だ(貧乏神)

旭町一丁目十三番地 入院随時 若槻小兒科内科醫院 電話二四六二番 ドクトル メヂチチ 若槻寛隆

再三宮内省御買上の光榮を辱ふせり

夏の日ヤケを防ぎ天然の美を現はす

ホーカー液

ホーカー液を朝夕の洗面入浴後に御召し遊ばせば

■色を白く、キメを細かにし
■アレを防ぎ、色艶を好くし
■日ヤケ、白粉ヤケを防ぎ
■子供衆の皮膚を丈夫にし
■性來色の白いやうに見え

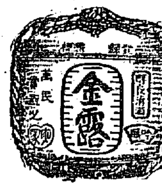
ます、又

■白粉下、白粉のトキ水によく
■男子方の剃刀後に適し
■香よく香水の代用をする

等全く他に類のない優れた効果をもつて居ます

定價小瓶廿錢、中瓶四十錢、大瓶八十錢 送料内地 八錢 三十錢 満鮮 内外到る處の小間物、化粧品店、藥店に販賣す 若品切の節は直接本舗へ御申越被下度候 振替又は切手代用にて御注文に應ず

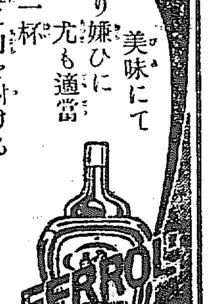
東京和泉橋 本舗 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六番



攝津灘 大塚釀造所吟製

京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

フエロール



美味にて藥り嫌ひに尤も適當 一杯一杯體に力を附ける 醫家適應 ●凡の病人●恢復期 ●產後●毛髮●神經 ●衰弱●消化不良其他

小瓶壹圓也 大瓶壹圓七拾錢 各藥店等にあり

本舗 大阪道修町 小西久兵衛

一般銀行業 倉庫業

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟) 諸積立金二十四萬百圓

京城南大門通一丁目 株式會社 朝鮮商業銀行

銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明敬

電話五五・五八一番 振替京城一六六三八四一番

南大門支店 電話八四九番 振替一〇六二番
本町支店 電話五四四番 振替一七〇二番 一五八二番 二一九四番
仁川支店 平澤支店 電話八四九番 振替一〇六二番 一六〇六番
東大門出張所 電話一八六三番

日韓書房 新版報告

伊藤博文 歴遊之事蹟 明治裏面史 定價一圓五十錢 送料十錢
熊田宗次郎著 日本史蹟 赤穗義士 定價一圓三十錢 送料八錢
杉田水產術著 老人より青年へ 定價一圓 送料十錢
篠崎三郎譯 アダム以前 定價八十錢 送料十錢
廬川忠雄著 喜言嘉行 一日一訓 定價七十錢 送料八錢

京城本町二丁目 電話一二〇四・五一二七番 振替口座二二五番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 入院随意 酒井婦人病院 電話二六〇〇番

陸軍御用達

京城蓬萊町 釀造發賣元 三巴酒造場 電話一〇六七番 振替口座六一八番

太田支店 電話一二五番 平壤支店 電話五一二番

特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

內科 小兒科 入院随意

京城明治町(元善隣學校跡) 中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

新刊書御案內

書名 著者 定價
輸入税法 岩崎 一、五〇
學校敎育の倫理的心理的基礎及其實際 宮內富一郎譯 一、八〇
改訂增補新撰日本外史 過邊薫矣 一、四〇
批判解釋禪學新論 忽滑谷快天 九〇
涼風五十五日 菊池寛二 九〇
江田島生活 前田中尉 一、二〇
趣味を求めて 黑田湖山 六〇
隱れたる事實明治裏面史 伊藤痴遊 一、五〇
戰場秘話 櫻井忠溫 四八
日本史蹟赤穗義士 熊田葦城 一、五〇
新譯新アラビヤンナイト 三上節造譯 九五
千古傷帝艶史 三木愛花譯 九五
小說聖フランシスの花 久保正夫譯 一、二〇
大尉の娘 瀨戶義直譯 八〇
罪と罰 中村白葉譯 一、五〇
新婚の夜 孔雀園主人 七〇
生ひ立の日 內藤千代子 一、一〇
惜春譜 合本 一、一〇
合歡の花 田山花袋 九五

京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三 大阪屋號書店

胃病良藥 太田胃散

○飲過ぎ食過ぎに妙なり 藥價十四錢 廿四錢 五十錢 一圓 本舗 東京 吳服町 太田信義 全國到る處の藥店に販賣す

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 立神丸 日 後五時出帆
○元山、淸津、浦潮行 立神丸 月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住吉、須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山濱町立新町 本船取扱店 大池回漕部 電話二七番

大邱浦項間自動車 發着時間

上 浦項發り 前八時 前一〇時
安東同 …
[illegible]

電話一一七番 大塚農場自動車部 大邱出張所

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社 關東都督府命令船

○芝罘、大連行 第共同丸 七月八日入 十日正午出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客通路輸送御取扱仕候 大連にては青島行定期船と連絡致し候事に付送御取扱可仕候 と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、淸津、浦潮行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 第三共同丸 月 日前八時出

仁川代理店 本町二丁目(電話一〇八番) 山下回漕部
元山代理店 泉町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二・二一三二番
京城支社 電話長一九五二番
京城南大門通 本社 京城支店 出張所、代理店、商客取扱所 松原運送店(電話長一七〇七)

○全羅丸 七月廿一日 釜山發
○京畿丸 七月十一日
○黃海丸 七月十五日
○咸鏡丸 七月廿五日
門司より釜山各港寄港
○穩城丸 七月十二日 元山發
○昌平丸 七月十日
○鏡城丸 七月十六日
元山より各港 雄基行
○忠淸丸 七月廿五日 元山發
○平壤丸 七月十七日
城津淸津浦潮行 釜山より門司又は長崎行
○永興丸 毎月廿八回 元山發
北鎭、五里浦行
○盈德丸 七月十一日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 毎日 釜山發
○襄陽丸 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 七月十二日 釜山發
長承浦、統營、馬山方面、巨文島濟州島各港
○海州丸 ○巨濟丸 毎日 釜山發
○統營丸 ○慶賢丸
各港經由麗水行(三日月一回水浦行)
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續
○慶興丸 七月十四日 木浦發
各港經由濟州島行西歸
○慶興丸 七月十日 木浦發
濟州島、濟州島行(月三回)
○公州丸 七月十日 木浦發
各港經由濟州島行(東廻)
○宗信丸 七月八日 仁川發
海州經由各港經由、海州又は甕津行
○江原丸 七月 日 仁川發
青島、大連、芝罘行
○晉州丸 ○麗水丸 七月十一日 七月十五日 仁川發
各港經由木浦行
○鎭江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
江華島、橋桐島、喬州行

京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇〇番

御注意 朝鮮郵船及大阪商船聯絡切符發賣仕候

▲中國四國沿岸各港行船客に對し大阪商船より特別運賃割引致し候 乘船切符御購求の際御申出ありたし

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二五番

大阪商船仁川出帆

○外航一般五分引で輸送御取扱致候

○群山、木浦、釜山、門司、神戶大阪行 安東丸 七月十五日 後五時出
××安東丸 七月十三日
○××須磨丸 七月十八日
○○鎭南浦、群山、神戶、大阪行 濟州丸 月 日 後二時出
○×木浦、釜山、嚴原、粥の浦、長崎行 信濃川丸 八月 九日 後二時出
○×信濃川丸 七月廿二日
○×安東丸 七月 日 後二時出
○×鎭南浦、大連行 信濃川丸 七月十七日 後二時出
○×大連直行 日米丸 七月四日
○△福州丸 七月十二日 正午出帆
○×群山、神戶、大阪行 宮島丸 月 日 後五時出
○群山、釜山、橫濱行 福州丸 七月十八日 後二時出
△日米丸 七月卅一日
○淸津、浦潮行(元山出帆) 印城丸 七月十八日 後二時出
▲安平丸 七月十八日 後二時出
▲宮島丸 七月廿四日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 城津丸 七月 日 後四時出
湖北丸 七月十日 前六時出

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 七月九日 後四時出帆
○大有丸 七月十六日 後五時出帆
○神代丸 七月十八日 後五時出帆
○秀吉丸 七月廿二日 後五時出帆

仁川海岸町 電話五十二 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連、太沽牛莊行
相模丸 八月六日 正午出帆
高砂丸 七月十五日 正午出帆
三河丸 七月廿六日 正午出帆

仁川本町一丁目 電話十番 堀回漕部

商況

大阪株式特電 (七日後場)

京阪電鐵 和歌山紡 合同紡績 鐘淵紡績 … 二七六、四〇 …

大阪三品

後場常與寄付十三圓五十錢 ○中限寄付十三圓九十五錢 ○先限寄付十四圓五十錢

下關期米特電

▲七日後場 大阪前十四圓二十六錢 後寄付十四錢 …

仁川米豆取引所

高値は買方の見送り居るに反し新規に利食に賣物多く稍々形勢一變見ろ〳〵二十錢に墜ち四節何十八錢を五錢し不勢に陷つた…

▲暴風警報 …北道とありたり

▲後場中限… 高値 安値